

マリオゴルフ64

FOR ALL PLAYERS HOPING TO TOUCH THE TRUE ENTERTAINMENT

コース ガイドブック③

⑤テレサバレー　⑥マリオスター



ファミ通64+ 10月号 特別付録

キャラクター別 飛距離一覧

数字はそれぞれキャリー(左)とラン(右)を意味し、この合計がゲーム画面で左下に表示されている飛距離になると考えてほしい。フルスイングからひと目盛り減らした場合のショット(-1)を使いこなせれば、対応に困る場面はかなり減るだろう。微妙なパワー調整が難しいなら、ボールのいちばん下を叩くバックスピンでわざとボールを高く上げるといい。キャリーとランを考えてシチュエーションに合ったクラブを選び、「グリーンへ乗せる」のではなく「ピンへ寄せる」という、ワンランク上のアプローチを期待したい。



「フルスイング-1」のショットは、狙った目盛りの直前でAボタンを押す感じだ。

ピーチ

	1W	3W	4W	2I	3I	4I	5I	6I	7I	8I	9I	PW	SW
PS	220/12	202/14	187/13	174/12	161/12	153/12	145/11	131/12	120/12	109/11	99/13	83/13	62/10
FS	198/12	185/13	170/12	154/11	145/13	136/14	128/10	117/11	107/11	98/12	88/12	74/12	55/12
-1	184/15	173/13	159/15	144/12	136/13	128/13	120/13	110/10	100/14	91/13	82/11	70/12	51/12
BS	195/11	181/10	166/12	152/10	143/11	134/13	123/11	113/9	104/12	95/11	86/11	76/10	58/11

ベビィマリオ

	1W	3W	4W	2I	3I	4I	5I	6I	7I	8I	9I	PW	SW
PS	223/12	209/12	190/10	177/11	165/11	153/9	143/9	134/10	122/9	109/13	100/12	85/8	62/9
FS	201/13	186/12	170/11	157/10	148/13	138/9	129/9	121/10	107/10	99/10	90/12	77/10	54/12
-1	190/12	178/10	160/11	148/10	140/10	129/10	122/11	114/11	101/11	93/11	84/11	71/9	52/10
BS	202/9	186/11	170/9	156/9	148/13	137/10	128/9	119/9	106/10	99/11	91/10	78/12	59/9

ルイージ

	1W	3W	4W	2I	3I	4I	5I	6I	7I	8I	9I	PW	SW
PS	226/15	210/14	193/14	176/11	167/13	158/10	145/10	136/12	125/10	115/9	104/10	89/10	66/9
FS	198/17	188/16	176/15	157/15	150/12	140/11	131/13	122/10	114/11	103/10	93/10	79/10	60/9
-1	184/18	178/15	165/14	148/14	142/12	130/13	124/11	114/13	107/11	96/12	86/11	74/11	55/11
BS	194/14	182/11	167/11	155/12	147/13	135/12	128/11	119/9	111/11	102/9	92/9	80/8	62/9

ヨッシー

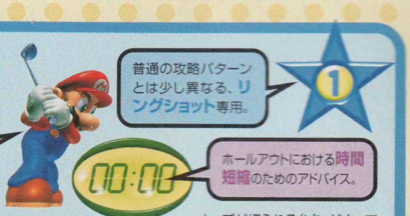
	1W	3W	4W	2I	3I	4I	5I	6I	7I	8I	9I	PW	SW
PS	240/14	220/11	204/12	189/10	175/13	162/12	154/12	143/10	132/12	118/11	109/10	92/9	69/9
FS	215/12	198/14	182/13	168/14	157/11	146/12	139/10	127/12	121/8	107/12	98/12	83/9	62/10
-1	204/12	187/13	173/12	159/13	149/12	140/9	133/11	120/11	113/12	102/10	93/10	78/9	58/9
BS	217/12	199/11	179/10	167/12	157/8	146/10	136/10	125/12	118/9	108/10	100/8	85/8	67/9

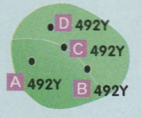
表内の数字はキャリー/ラン(単位はヤード)を示す　**PS**:パワーショットでのフルスイング　**FS**:ノーマルでのフルスイング　**-1**:FSから目盛りひとつ分減らしたショット　**BS**:バックスピンをかけたフルスイング　※数値はすべて編集部で独自に調べたものです。ドライビングレンジのティーショットにおいて無風・晴天状態で行い、インパクトはBSを除きボールセンターのみを対象とする、という条件の下で一定数のサンプルを集め、そこから数値を算出しました。なお、小数点以下は四捨五入となっています。

ホール攻略アドバイスについて

ホール別攻略の各所で出てくるアドバイスは、それぞれキャラクターの特徴に対応したものになっている。ちなみに、基本とは別の攻略ルートと合わせて載せている場合もある。なお、ホール図の横にあるグラフは、ホール全体の高低の状態を表したものである。







カップが切られる(ピンが立っている)位置は4ヵ所あり、その中からランダムにひとつが選ばれることになる。本書では、ティーグランドから近い順にA～Dと表記、それぞれのティーグランドからの残り距離を併記している。

MARIO GOLF

テレサバレー



テレサバレー

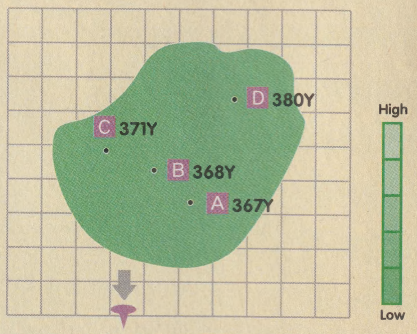
HOLE 1

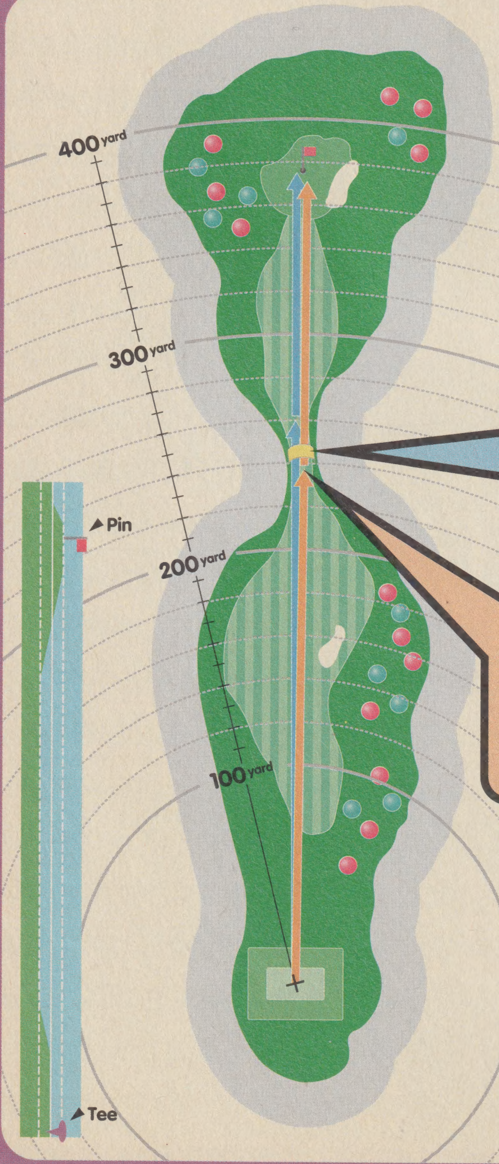
373Yards　Par4

フェアウェイはピンまで一直線だが、230ヤードあたりから急激にくびれている。フェードやドロー特性のアドレス調整ができない初心者は、このコースへ近づくなと言わんばかりのスタートホールだ。くびれの手前へ刻めば安全だが、打ち上げのアプローチで距離を残すことになってしまう。

Green Data

左手前から右奥へ、ゆるい下りのスロープとなっているが、全体的にフラットと考えてOK。ただし、手前のフェアウェイがかなりの上り坂なので、キャリーは直接グリーンへ。







240ヤード地点にあるアーチ状のリングをくぐらせるには、トップスピンでランを稼ぐといい。なるべく球筋がストレートのキャラクターで挑戦するのが正解。最低でもメイプルほどの飛距離がないと、コンプリートは難しい。



横風の左右への影響が心配なら、パワーショットでくびれをキャリーオーバーさせるのも手。7ヤードの打ち上げとなるアプローチは、実際の残り距離に10～15ヤード足して飛ばすつもりでトライ。

ノーマルルート
リングルート

テレサバレー

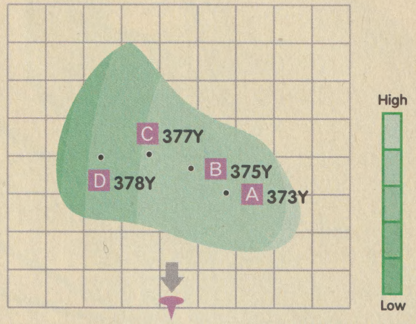
HOLE 2

400Yards　Par4

変則的に点在するフェアウェイをわずかなラフが取り囲むが、その外側は即谷底という恐怖のパー4。中盤で縦に並んだ三連バンカーは、どんなキャラクターにも危険を振りまいている。グリーンの周囲もハザード満載で、ホール全体を通してボールを運ぶことのできる場所はかなり限られている。

Green Data

右はフラット、左は急な下り坂といった雰囲気。やはり左側のCとDにカップが切られると厄介。フェアウェイとつながる左側から乗せないと、難しい下りのパットが待つ。







アプローチで距離が足りないと、ほとんどがこの盛り上がったラフにつかまる。4ヤード前後の打ち下ろしだが、選ぶクラブがショートアイアンということを考えれば高低差は無いものと考えたい。手前のラフをキャリーで越えるなら、10ヤードぐらい強めにショット。すぐ後方はOBゾーンだが臆するな。



右側からボールを曲げてくるドローボールにとって、この三連サイドバンカーはかなり厄介。かといってターゲットを左へ動かしすぎると、左斜め上に転がるためラフにもつかまりやすい。ターゲットの右側がバンカーと少し重なるぐらいにアドレスを調節。

6

まずティーショットを巨大なリングの真下にある、横長の足場へ乗せられるかどうかが問題となる。飛距離は190ヤード程度でバックスピンを忘れずにかけておきたい。アプローチは200ヤード以上の距離を残すが、グリーンまではかなりの打ち下ろし。残り距離よりも10～15ヤード手前へ飛ばすつもりでショットすれば、2オンが狙えるぞ。

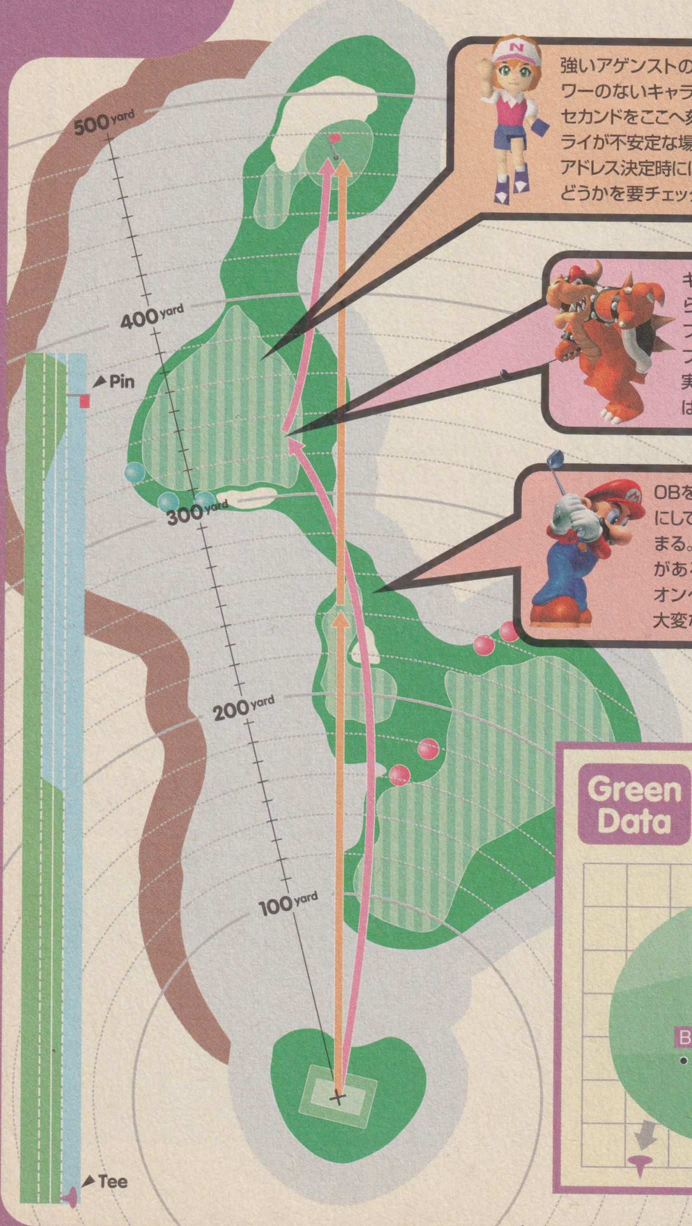
ノーマルルート
リングルート

テレサバレー

HOLE 3

534Yards　Par5

パー5にしてはピンまでの距離がさほどのものではなく、ほとんどのキャラクターで2オンのイーグルを狙っていくことができるホール。ティーショットを、ホール中盤のヒョウタンのような形をしたフェアウェイまで運べるかどうかが勝負だ。ただし、先端へいくほど幅が狭くなっている点には注意。



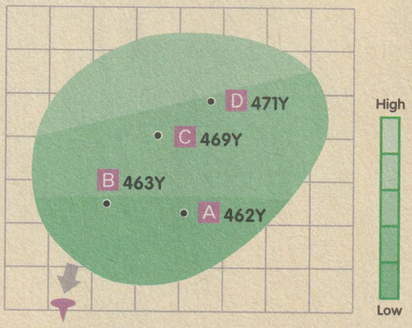
強いアゲンストのラウンドや、パワーのないキャラクターの場合、セカンドをここへ刻むことになる。ライが不安定な場所が多いので、アドレス決定時には影響があるかどうかを要チェック。

キャリーで305ヤード出せる状況なら、中盤のくびれを越えてさらに奥のフェアウェイを目指せる。ただし、アプローチは4ヤード前後の打ち上げ。実際の残り距離よりも5ヤード先へ飛ばすつもりでパワーを調節しよう。

OBを気にしてアドレスを右寄りにしていると、ここのラフにつかまる。ラフは飛距離にばらつきがあるため、2オンはおろか3オンへのリカバリーもけっこう大変なことになる。

Green Data

奥へと上ったボールが止まりやすい受けグリーンだが、すぐ奥はバンカーが待っているので過信は禁物。カップに対して落とし場所が左右にずれると、難しいラインが残る。



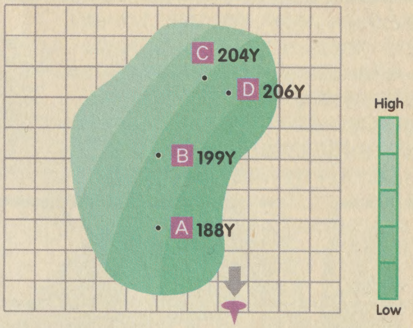
HOLE 4

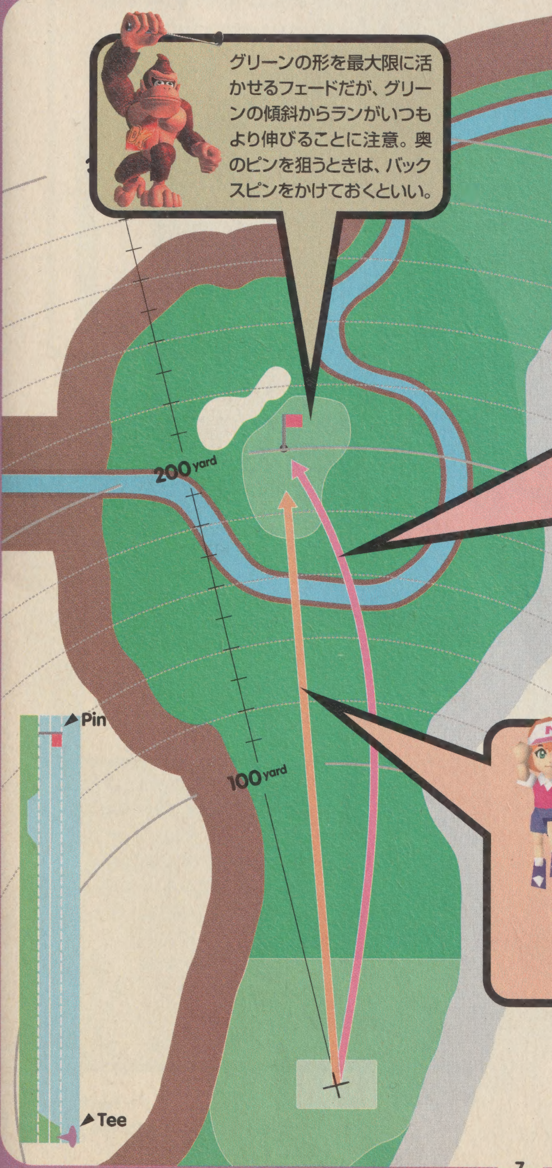
199Yards　Par3

ピンまでがかなり遠いパー3。選ぶクラブはドライバーかウッドとなるため、ボールがじつに止まりにくい。目標となるグリーンは非常に大きく、縦幅で見ればなんと40ヤードもの長さがあるのだ。クラブ選択を間違えると、乗るには乗ったけれど、かなりの距離を残したロングパットになることも。

Green Data

右奥へカーブしたグリーンだが、傾斜としては左奥へ上っている。カップの位置はかなり離れて設定されているので要注意。奥のカップをドローで狙うのが高難度だ。





グリーンの形を最大限に活かせるフェードだが、グリーンの傾斜からランがいつもより伸びることに注意。奥のピンを狙うときは、バックスピンをかけておくといい。

ピンをデッドに狙うには、キャリーをグリーン右端へ落とすことを考えがちだが、ここでグリーンの傾斜に注目したい。キャリーの落とし場所をグリーン中央となるようにアドレスを調節してみよう。ここへ落とすことで、左へ転がろうとするボールの勢いがグリーンの傾斜に相殺されて、じつにいい具合に中央付近で止まってくれるのだ。

11ヤードもの打ち下ろしだが、ピンの場所が奥か手前かで対処が異なる。ピンが手前の場合は上り坂がランをほとんど消してくれるので、打ち下ろしを意識せず、そのままの残り距離を飛ばせるクラブでOK。奥の場合は、グリーンのやや左側を狙うといい。右へカーブしながら転がるボールがピンへ近づいてくれる。クラブは、実際の飛距離よりも2～3ヤード先に飛ぶと考えて選択してほしい。

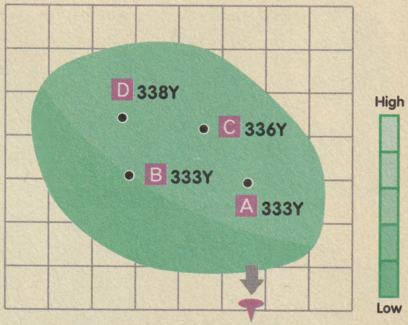
HOLE 5

335Yards | Par4

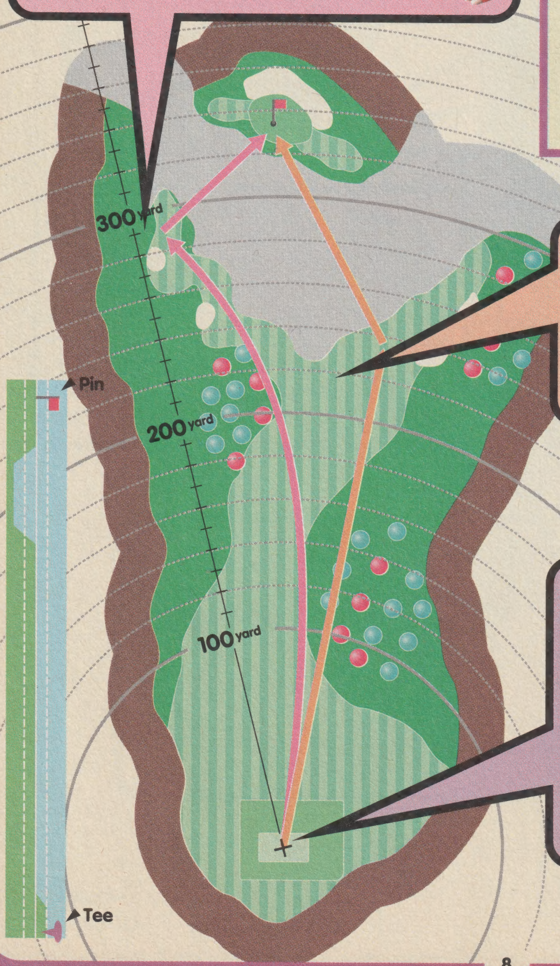
中盤から左右へ分岐したフェアウェイがポイント。左右のどちらへボールを運ぶかによって、アプローチにおける難度が微妙に変わってくる。どちらも斜め方向へ飛ばすティーショットとなるので、アドレス調整は意外に難しい。ただ、グリーンの傾斜は、このコースではイージーなレベルだ。

Green Data

左からアクセスできれば、絶好の受けグリーンの形になる。注意すべきは、面積も狭く横長の形なので、奥のバンカーへオーバーさせてしまうこと。バックスピンは必須だ。



意外とやっかいなのが、手前にあるバンカーの奥で右へ突き出たラフだ。キャリーでこのバンカーをうまく越えても、ランがここへ飛び込んでしまうことが多い。そこで、パワーショットに余裕があるなら、ぜひキャリーで290ヤードを叩き出して欲しい。2つのバンカーをキャリーオーバーして、フェアウェイの最先端を目指せるぞ。



ティーショットは右へ運び、グリーン手前に長いフェアウェイを臨む形でアプローチするのがセオリー。ただし、強いアゲンストのラウンドや、斜め方向へのアドレス調整に迷いがあるなら、真正面の215ヤード地点へ刻むという選択肢もある。

00:00

フェアウェイが谷で分断されていると、プレイヤーは崖ぎりぎりまで飛ばしておきたくなるもの。そのせいか、このあたりは飛距離が一割減ることもあるディボットが多い。これを知らずに、残り距離ピッタリでタイトに攻めると、手前の崖に落ちるミスにつながる。もちろん、重大なタイムロスだ。これはテレサバレーの特徴のひとつでもある。崖ぎりぎりを狙うのはOKだが、かならずそのあとにライを確認すること。

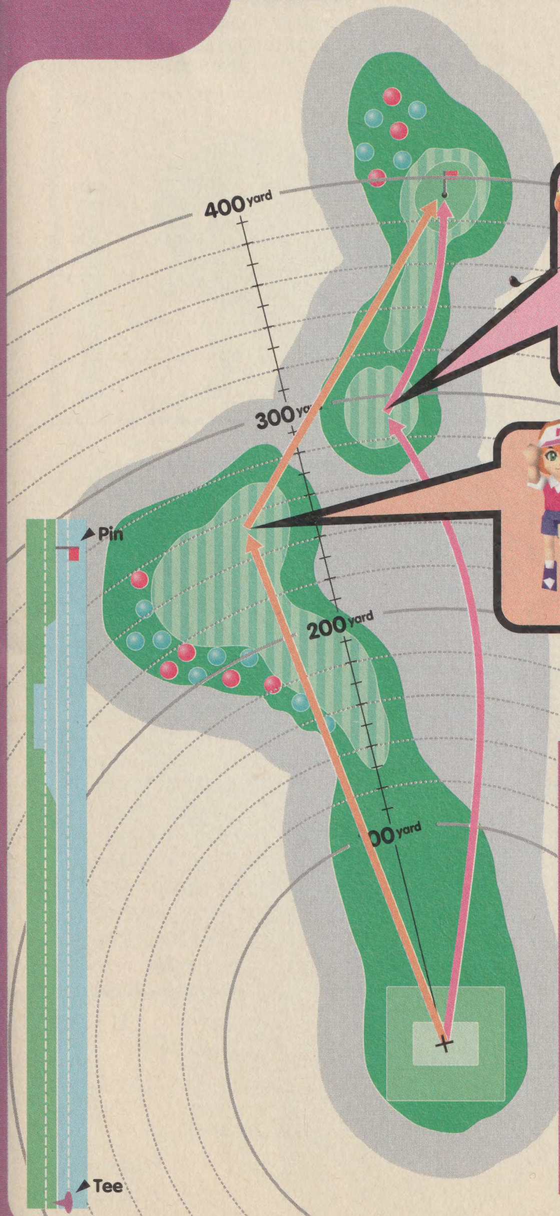
ノーマルルート
ロングルート

テ レ サ バ レ ー

HOLE 6

411Yards　Par4

直線的に攻めることができず、フェアウェイのすぐ横が谷底なのは、もうおなじみ。グリーン周辺にはハザードの類はないが、フェアウェイが極端に細くなっている点に要注意。アプローチでは、左右よりもむしろグリーンとの高低差からくる前後の距離感が重要だ。これを誤ると、痛いOBを味わうことに。



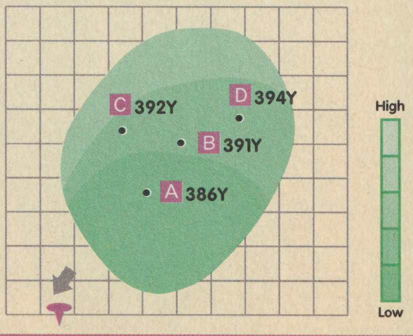
キャリーで270ヤード飛ばせる状況なら、崖を越えてグリーンのある小島までボールを運べる。ピンまでの距離は100ヤードを切るぐらいなので、ドローやフェードの特性が強いキャラクターでもストレートに打つことができるわけだ。1ヤードの打ち上げだが、ほとんどそのままの距離と考えて問題なし。

250ヤード地点はダウンヒルとなっている。ここを利用してランを稼げば、ティーショットで崖の手前まで運べる。崖の手前からのアプローチは、3ヤードの打ち上げ。狙い場所よりも5ヤード奥へ飛ばすつもりでトライ。

ノーマルルート
ロングルート

Green Data

典型的な受けグリーン。しかも4ヵ所のカップはいずれも中央付近に切られることを考えれば、かなりイージーなレベル。思い切ってピンをデッドに狙いたいところだ。

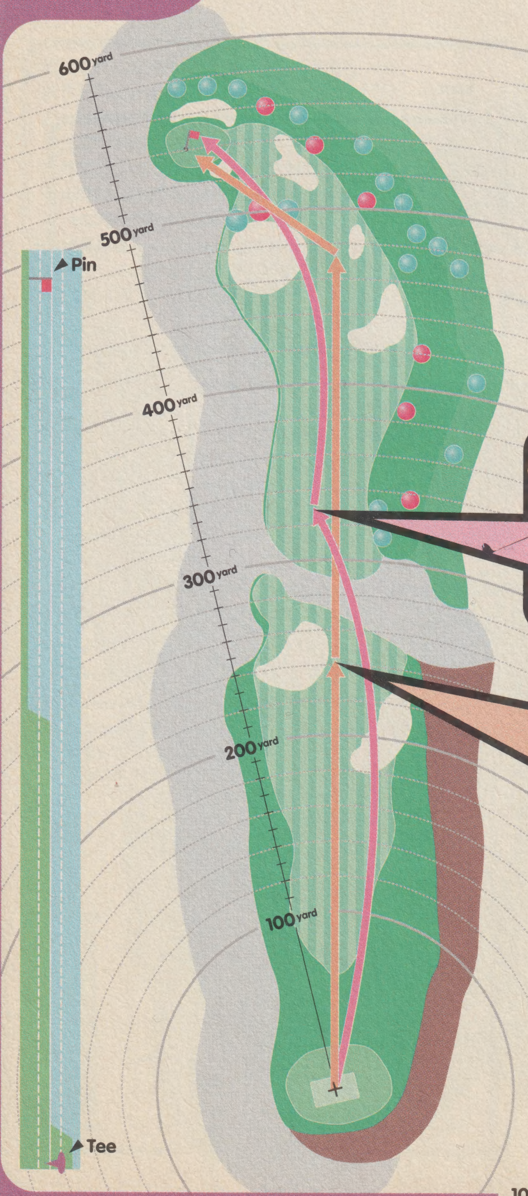


テレサバレー

HOLE 7

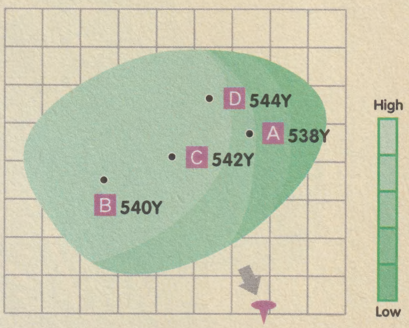
546Yards　Par5

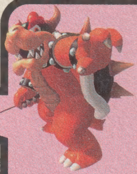
40ヤードを越える、驚異的な高低差を打ち下ろすことになるパー5。フォローのときには、ティーショットにおける5ヤード前後の飛距離の伸びに注意。崖の直前を狙うと谷へ落ちてしまうこともある。アプローチでは砲台状のグリーンが難所。手前でつながったフェアウェイも、かなりの上り坂だ。



Green Data

ゆるやかに奥から手前へ傾斜した受けグリーンだが、ボールを止めやすい反面、ピンまで転がりにくいことも事実。奥にピンがある場合は、グリーン中央へ直接届けよう。





崖の向こうへティーショットを直接届けるには、キャリーで285ヤード以上飛ばす必要がある。ただし、成功すればグリーンへは20ヤード近くの打ち下ろしなので、2オンが可能だ。グリーンへ正面からアクセスする形なので、上り坂のフェアウェイに困ることもない。



崖付近はフェアウェイが盛り上がっていて、ある程度ボールを止めてくれるが、20ヤードを越える打ち下ろしなので、距離感には注意。3オン狙いなら、セカンドショットで距離のアドバンテージを稼ぐと、短いクラブでアプローチができる。また、谷の手前へ刻んでも、セカンドでドライバーを使えば2オンは可能だ。ただし、メイプルぐらいのパワーだと、5メートル以上のフォローのラウンドであることも条件。

テレサバレー

HOLE 8

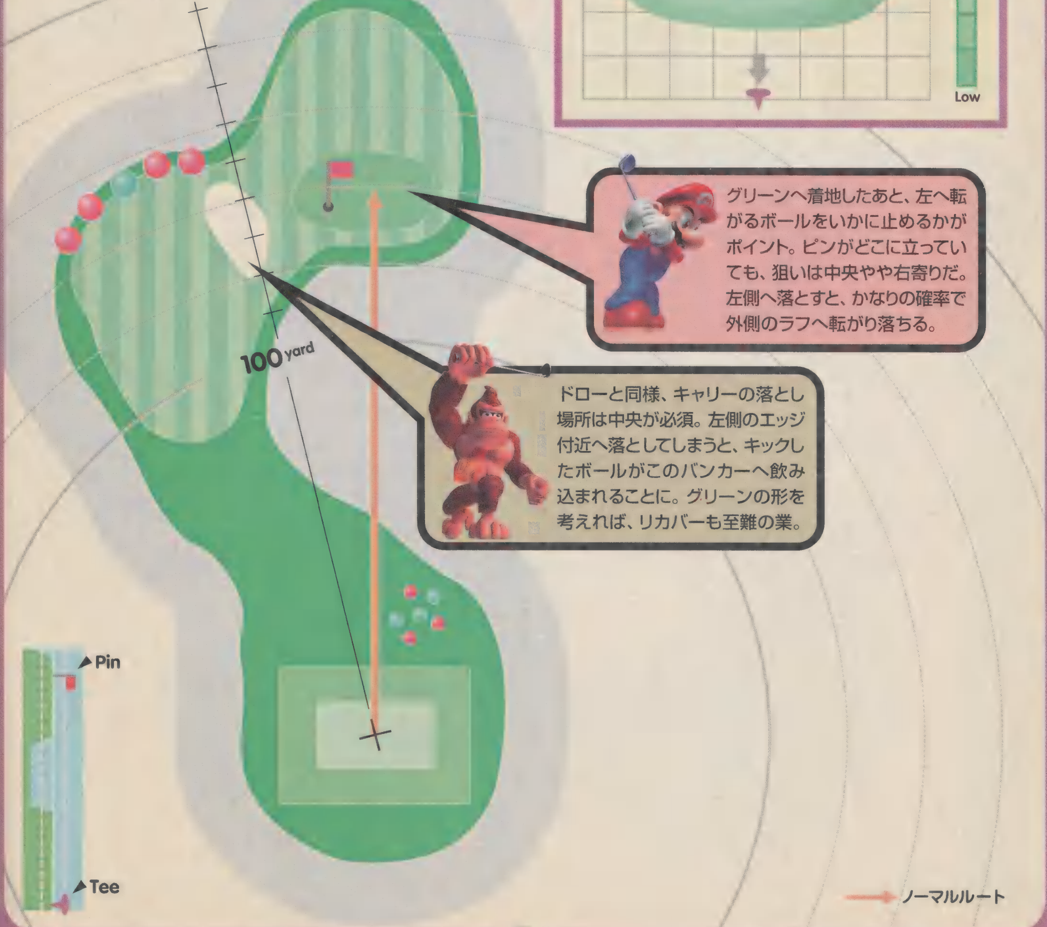
136Yards | Par3

一見すると谷越えだけが課題のように思えるが、その先にある甲羅状グリーン対策にも悩まされるはず。ティーグランドから見てグリーン手前は急な上り坂になっており、グリーン中央へキャリーで届ける必要がある。そのことを考えれば、打ち上げの気持ちでプラス5ヤードのショットが望ましい。

Green Data

このコースで屈指の難易度を誇るグリーン。中央が盛り上がり、かなりの角度で周囲のグリーンエッジまで下っている。中央へ乗せないと、ワンパットでのホールアウトは困難。





グリーンへ着地したあと、左へ転がるボールをいかに止めるかがポイント。ピンがどこに立っていても、狙いは中央やや右寄りだ。左側へ落とすと、かなりの確率で外側のラフへ転がり落ちる。

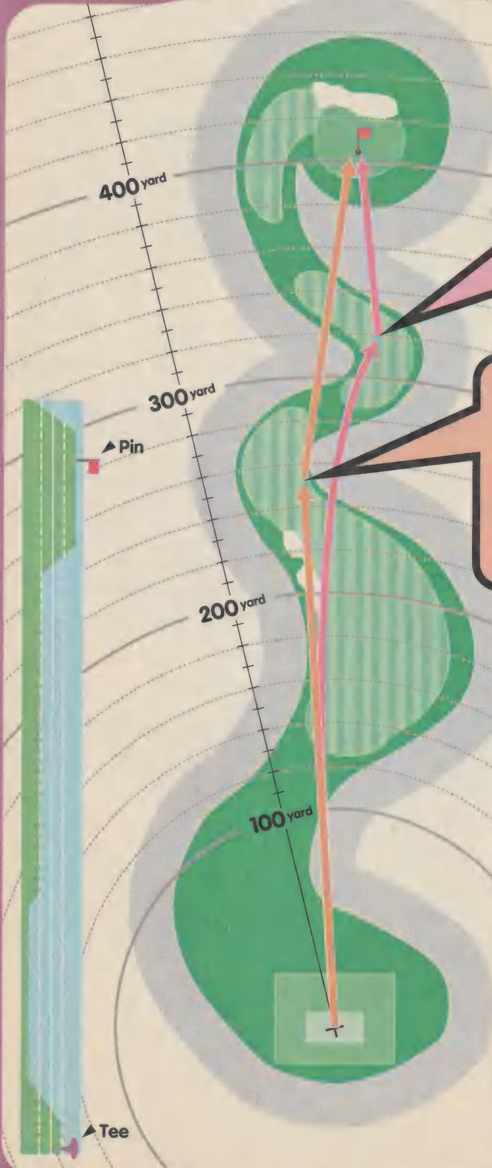
ドローと同様、キャリーの落とし場所は中央が必須。左側のエッジ付近へ落としてしまうと、キックしたボールがこのバンカーへ飲み込まれることに。グリーンの形を考えれば、リカバーも至難の業。

テレサバレー

HOLE 9

402Yards　Par4

山頂へと続く峠道のように、細いフェアウェイが左右に曲がりながらグリーンへと伸びている。平均的なアプローチ地点からグリーンは15ヤード以上の高台にあり、左右と上下の両方のコントロール技術が問われるホールだ。アプローチは、残り距離に10ヤードプラスする気持ちで思い切り良くいこう。





キャリーで280ヤード以上出せれば、ヘアピンカーブをひとつショートカットできる。ここまで飛ばすことのメリットは、アプローチの距離が短くなること。グリーンが横長でフラットな場所がほとんどないとなれば、短いクラブで高くあげて、しっかり止めたいわけだ。クッパやドンキーでも、ほぼストレートの球筋で狙えるのも嬉しい。

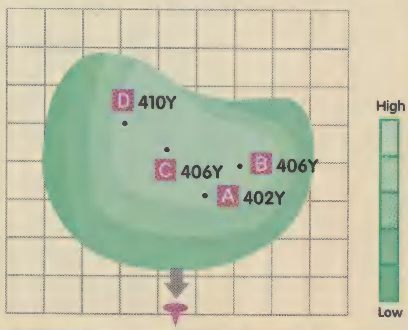


ティーショットでフックは禁物。高確率で左の二連バンカーにつかまることになる。加えて、バンカー右側付近のフェアウェイにはディボットが多い。メイプルがここにハマると、2番アイアンが使えなくなってしまうため、スコアメイクにも影響が出てしまう。パワーショットに余裕があるなら、バンカーをキャリーオーバーしてしまうのが良策。

ノーマルルート
ロングルート

Green Data

フラットな中央から、周囲のエッジへ向かって下っている。とくに、左側はかなり急な傾斜になっている。ボールが止まりにくいので、中央へ落とす場合はバックスピンは必須。



テレサバレー

HOLE 10

562Yards | Par5

長いフェアウェイが左へカーブしていくパー5。途中にフェアウェイを分断する谷があり、ティーショットでここをキャリーオーバーできれば2オンのチャンス。ただし、グリーンの手前でつながっているフェアウェイはかなりの上り坂なので、アプローチではキャリーで直接ボールを届ける必要がある。



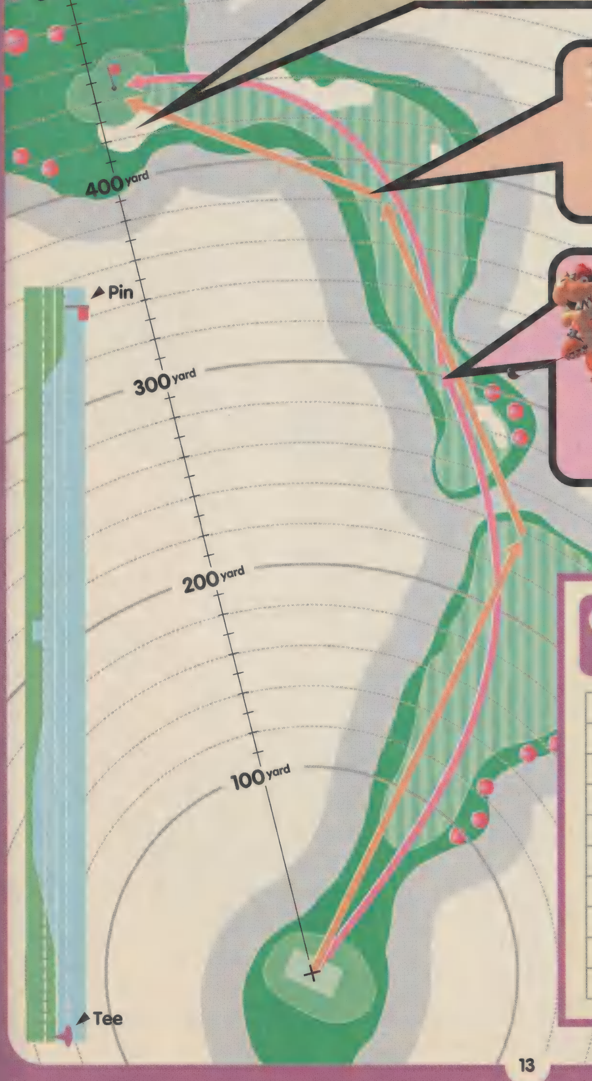
ドンキーなど、フェード系ロングヒッターの2オン狙いで障害になるのがこのバンカー。この際、グリーン右斜め奥のラフへ落ちてもいいぐらいの気持ちで、少し右寄りにアドレスを微調整しよう。



ご多分にもれず、ここも崖付近のフェアウェイは荒れ気味。メイプルの場合、ディボットにハマると2番アイアンが使えなくなるので、トータルでは飛距離のロスとなってしまう。220ヤード付近へ刻み、そこからウッドでセカンドショットが3オン狙いのセオリー。

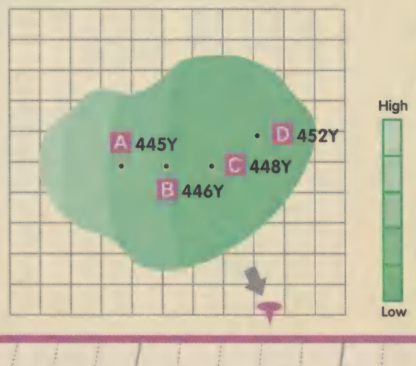


中盤の谷を越えた地点からグリーンまでは250ヤード弱といったところ。しかもこの地点はホールの中でいちばん低く、10ヤードを越える打ち上げとなってしまう。つまり、それも計算に入れると、セカンドショットで260ヤード以上キャリーで飛ばせる状況でないと2オンは難しい、ということだ。無理に飛ばす前に一考を。



Green Data

ドングリのようなグリーン。面積としては広い部類に入るが、手前と奥が左右で細く、強風のラウンドでは左右へのアドレスを慎重に決めたい。カップは4ヵ所とも中央にある。



テレサバレー

HOLE 11

357Yards Par4

直角に曲がったドッグレッグのパー4。ティーショットでできるだけドッグレッグの"関節"付近へ運んでおくことが、アプローチを角度的に楽にする。250ヤード地点からのダウンヒルを活かし、ランを稼ぎたいところだ。全体的にライは不安定なので、アドレスを決めるときにはチェックを忘れずに。



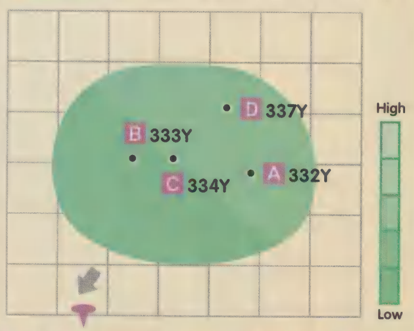
ダウンヒルの途中でボールが止まってしまうと、アプローチはつま先上がりのライとなる。そのままではボールが左へ飛ぶ傾向があるので、アドレスの調節を忘れずに。

「ピンへ向かう5メートル以上のフォロー」という条件なら、クッパやドンキーはパワーショットを使って驚異の1オンが可能となる。条件はかなり厳しいが、ロングヒッター同士のマッチプレイなどで、牽制の意味を込めてトライするのもいいだろう。

ポイントはティーショットの飛距離にある。「ねこ山」の上にあるリングを角度的に通過しやすくするには、ティーグラウンドから200ヤード地点が狙い目。そして、リングの左端へアドレスをあわせつつ、ねこ山の後ろにあるグリーンへ乗るようにフックをかけたボールでアプローチ。

Green Data

レイアウト、傾斜ともに平凡そのもの。ターゲットとしては若干小さいぐらいか。カップがBのときだけ、グリーンの奥行きを短く使うことになるので、距離感だけ注意したい。



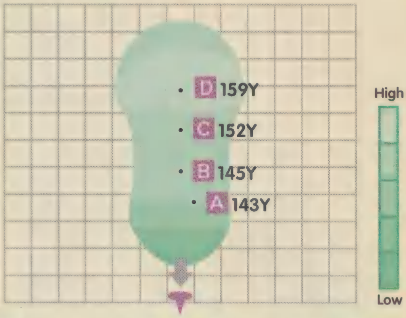
HOLE 12

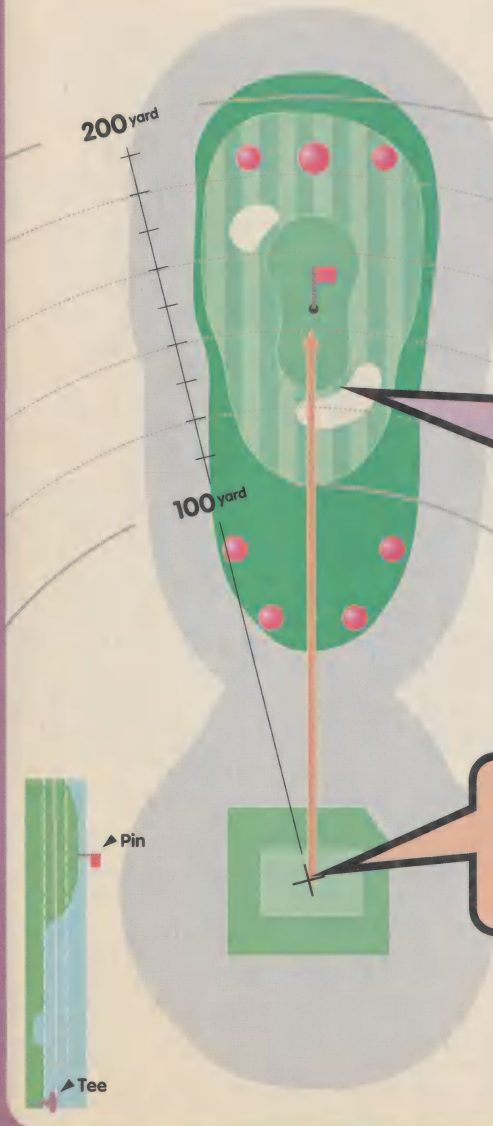
152Yards　Par3

急な上り坂の途中にグリーンとフェアウェイがへばりついたようなショートホール。かなりの打ち上げであることを忘れてさえいなければ、障害は右手前のガードバンカーのみ。グリーンへ乗せること自体は簡単だ。ただし、ピンへ寄せておかないと、高難度のラインを残してしまうことになる。

Green Data

全体的にアップヒルで、手前部分の傾斜は相当なもの。カップが手前の場合は、寄せるなんて中途半端な気持ちでパットすると、手前のフェアウェイまで転がっていくことに。





00:00 手前のピンを狙っても、距離がわずかに足りないと、ここのフェアウェイまで戻されてしまう。時間短縮のために、パターでチップインを試すのも手。1.7メートル近くの急激な上り坂だが、残り距離に4メートルぐらい足すつもりでショットしよう。



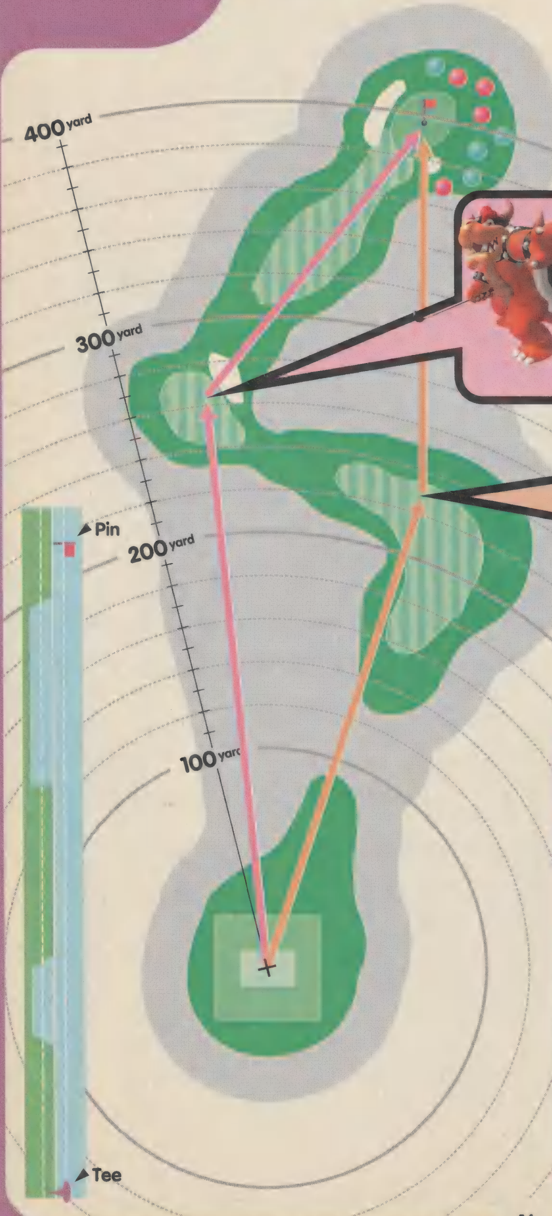
打ち上げ対策は、実際の残り距離に15ヤード前後足すつもりでショット。そしてこれが大切なのだが、必ずボールにトップスピンをかけること。そうしないと、上り坂のグリーンではランが稼げず、ピンへも寄ってくれないのだ。

テレサバレー

HOLE 13

396Yards　Par4

山あり谷あり、曲がりくねった峠道のようなフェアウェイありと、テレサバレーの全体的な特徴が盛り込まれたミドルホール。ティーショットの落とし場所は、大きく分けて真正面と左サイドの2ヵ所となるが、それぞれでアプローチの難易度が変わってくる。ショットの調子や風と相談したいところだ。

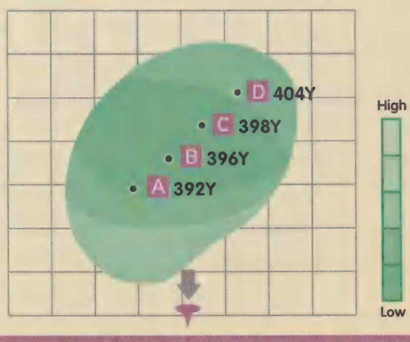


キャリーで235ヤード前後飛ばせる状況なら、このフェアウェイへボールを運ぶことができる。距離的には遠まわりになるが、グリーン手前までフェアウェイが伸びているので、アプローチにおける危険度はこちらのほうが低い。

ホールを真上から眺めると、オーバーしたときに奥の谷へ放り込むのが心配だが、実際のフェアウェイは谷へ向かっての上り坂。ランをほとんど消してくれるわけだ。ウッドかドライバーかで悩んでいるなら、思い切ってドライバーで距離を稼ぐべき。

Green Data

中央がすり鉢状に低くなった作り。正面からのアプローチでは、手前の高い部分とバンカーが障害となる。カップの位置から考えても、少し強めに中央を狙うのがベター。



テレサバレー

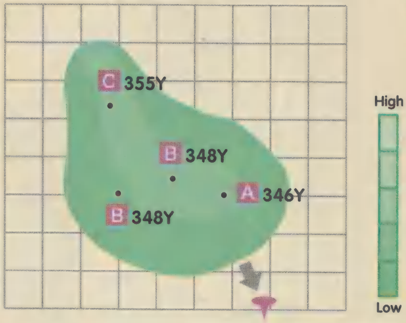
HOLE 14

391Yards | Par4

レイアウトに沿ってボールを運ぶなら、ティーショットはダウンヒルの入口付近を狙うことになる。しかし、ここはアドレスをもう少し左へ向けて、谷越えのショートカットで攻めてみたい。狙い場所は狭いが、右側のラフ付近が高いので、キックしたボールが戻ってくる場合が多いからだ。

Green Data

中央から周囲のエッジへ下っていく傾斜だ。加えて細かいデコボコも多く、ストレートなラインというのはほとんど無い。細かい傾斜は、気持ち強めに打つことで押し切る。







パワーの無いキャラクターだと、ここのサイドバンカーがティーショットをオーバーしたときの障害となる。フェアウェイのすぐ手前が崖ということもあるので、キャリーが伸びて止まりやすいバックスピンは必須だろう。



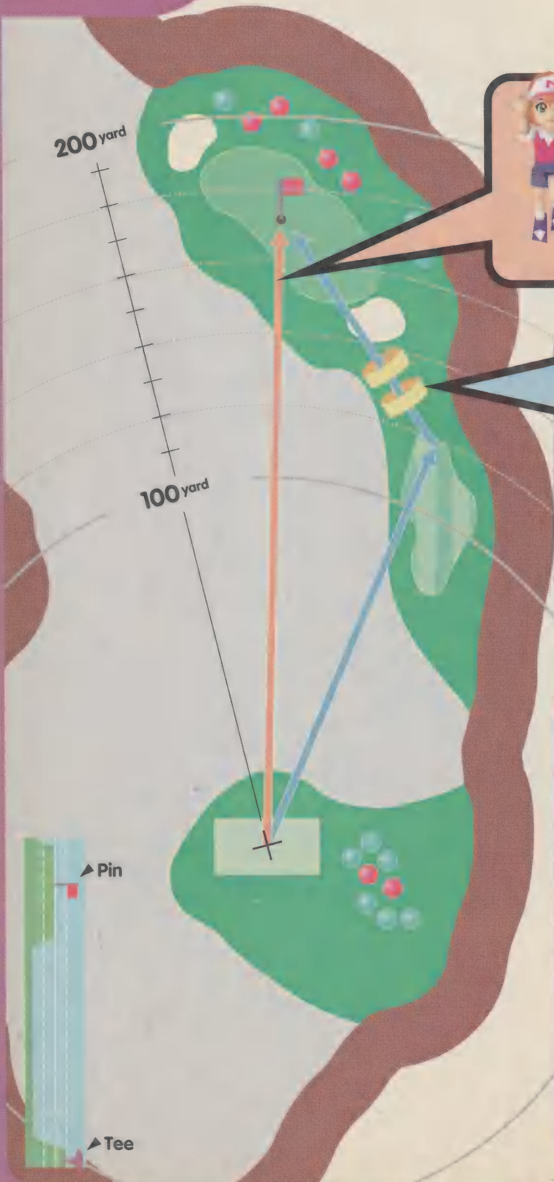
谷越えのティーショットの場合、フェード特性のボールは右側のラフへ転がってしまうことが多い。強い横風のラウンドなどでアドレス調整に迷ったら、ここへ刻むのも手だ。アプローチは10ヤード以上の打ち下ろしだが、ほぼ残り距離そのままと考えてOK。ロングアプローチとなるが、目標であるグリーンは広く、周囲も開けている。

ノーマルルート
フェードルート

HOLE 15

170Yards　Par3

霧が立ち込める谷を越えていくパー3。グリーンが右手前へ斜めの形で置かれているのがポイント。ティーグランドからグリーン真ん中のエッジまでは約150ヤードだが、これが左奥になると160ヤードと、10ヤードも異なってくる。エッジの手前はすぐに谷底なので、いずれも少し長めにショット。



わずかに1ヤードの打ち上げだが、ロングアプローチとなるため、思ったよりも大きな影響を受ける。5ヤード先へ飛ばすつもりでショットしよう。ランのことを考えれば、当然狙いはピンの左側が基本。パットを考えると、ピンの前後を狙えたらベスト。

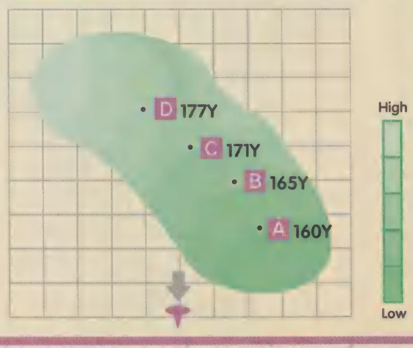
4

いったんグリーン右のフェアウェイへ刻む必要がある。縦幅が狭いので、奥のラフまで転がらないようにバックスピンで保険をかけておこう。距離は約110ヤードと見ればOK。そして、リングを通過させながらグリーンを狙うアプローチは打ち上げになるので、ピンまでの距離に20ヤード足してショット。距離は短いが、高弾道のボールじゃないと手前のバンカーのアゴに引っかかる恐れがある。

ノーマルルート
リングルート

Green Data

大きさに加えて上下の傾斜もかなりのもの。ティーグランドから見て左から右へ急激に下っている。微妙に前後にも傾いているので、距離を残すと一発で沈めるのは困難となる。



テレサバレー

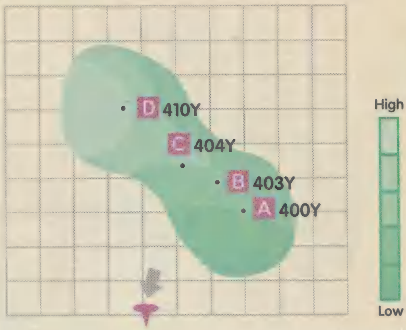
HOLE 16

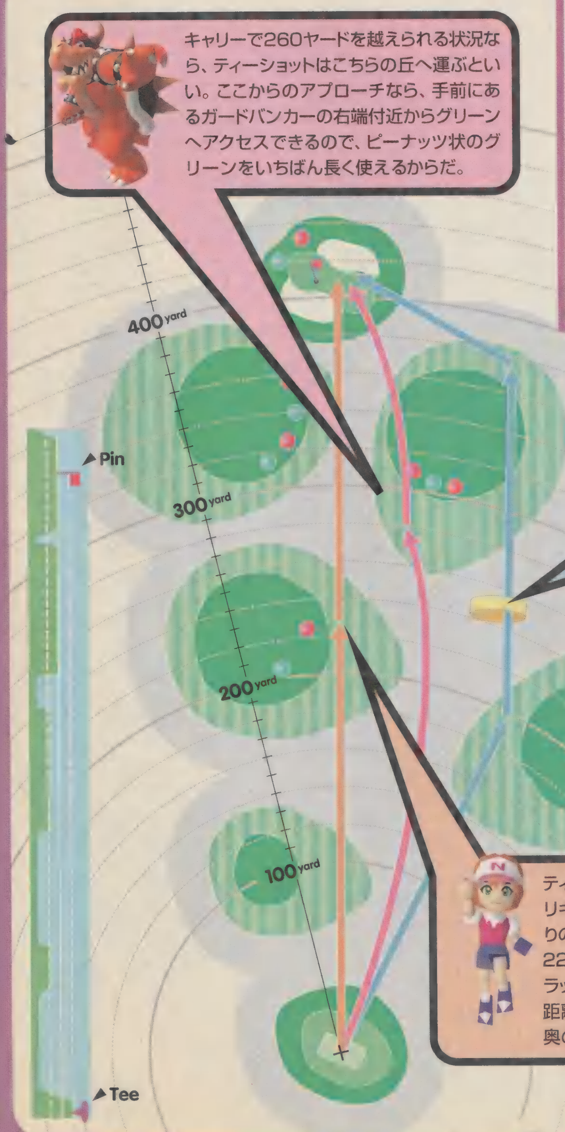
407Yards | Par4

点在する円状の丘を渡り歩きながら、グリーンを目指していくパー4。フェアウェイの端はすぐOBゾーンで、さらにその形状のこともあり、最短距離で乗せていく攻略ラインは意外に少ない。残り距離が届くかどうかが微妙なようなら、あえてパワーショットを使い、マージンを作っておくのも得策。

Green Data

傾斜としては受けグリーンの部類に入るが、ピーナッツのような形がやっかいだ。とくにカップがDの位置なら、バンカー越えを重視して、奥のラフへ届くぐらい強めに打とう。





キャリーで260ヤードを越えられる状況なら、ティーショットはこちらの丘へ運ぶといい。ここからのアプローチなら、手前にあるガードバンカーの右端付近からグリーンへアクセスできるので、ピーナッツ状のグリーンをいちばん長く使えるからだ。

③ 3オン1パットでクリア、と割り切って臨まないと難しい。まずはティーショットでリングの正面へと運ぼう。飛距離は220ヤード前後といったところだが、丘の上は狭いので、バックスピンをかけてランを殺しておくこと。続いてセカンドをグリーン右手前にある丘の裏側へ。着地地点が広いので、やや右寄りを狙うのがオススメ。このときも、キャリーを伸ばして山を越えやすくするのと、ランを殺すためにも、やはりバックスピンが有効だ。

ティーショットで無理に丘の奥ギリギリまで飛ばすと、つま先下がりの不安定なライになる。むしろ220〜230ヤード付近の方がフラットなのだ。雨のときは、残り距離も厳しいので、2打目を左奥の丘へ刻んだほうが無難。

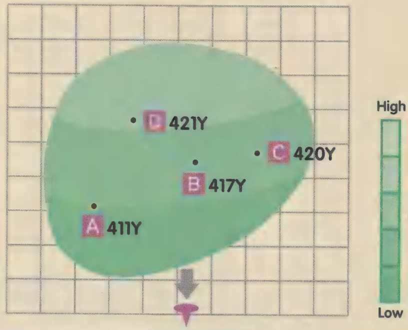
HOLE 17

484Yards　Par5

パワーショットの残りがあって、強いアゲンストが吹いていなければ、左右へ曲がりくねったフェアウェイをショートカットすることで、たいていのキャラクターで2オンが可能となる。しかも、その攻略パターンがふたつ存在するという、ある意味では「終盤のボーナス」とも言えるロングホールだ。

Green Data

ボールが止まりにくいロングアプローチでの2オンを考えれば、この典型的な受けグリーンは嬉しい。手前のフェアウェイは上り坂なので、キャリーはグリーンへ直接届ける。







遠回りとなる右側のフェアウェイは左端、距離的にいえばイン側が谷へ下っているので注意。最短距離をタイトに狙わず、センターキープを第一に考えよう。こちらも打ち上げのアプローチ。残り距離よりも10ヤード先へ飛ばすつもりでショット。イーグルパットのことを考えれば、ピン手前へ運びたい。

ティーショットで真正面の240ヤード地点へいったん運び、そこから柱の間を縫うようにグリーンを直線的に狙う。ボール特性がストレートのキャラクターに向いたルートだ。かなりの打ち上げとなるアプローチは、低弾道の長いクラブを使うことになるため、残り距離より20ヤードぐらい先へ飛ばすつもりじゃないと、谷を越えてグリーンへ直接届いてくれない。

ノーマルルート
ロングルート

HOLE 18

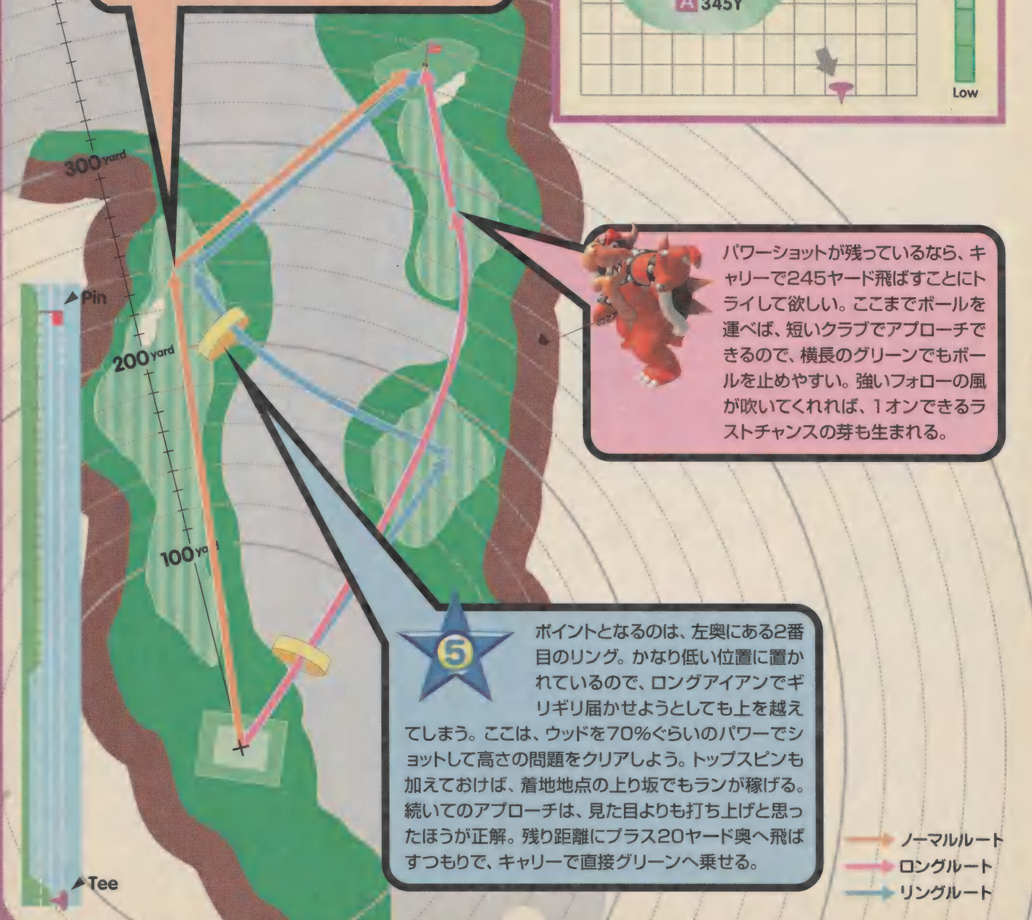
380Yards | Par4

ティーショットを左右のどちらへ運ぶかは、アプローチ時の残り距離とライを天秤にかけて考えよう。左側は、ほとんどフラットな場所がないほど激しい起伏のフェアウェイ。反対に右側は、180ヤード地点までロングアイアンで刻む必要があり、しかも横長になったグリーンを臨むことになる。

Green Data

左から右へかなりの下り坂だ。とくに、左のグリーンエッジ付近は丘のように盛り上がっており、左からアクセスするときは、ここを超えるようなボールが打てないと問題外。





ティーショットで気になるサイドバンカーは、キャリーで230ヤード出せれば問題なし。むしろ、気をつけたいのは右方向へのスライスボールだ。フェアウェイ右半分の下り坂に落とすと、運が良くてラフ止まり、最悪の場合は谷底行きだ。アプローチは、ライによる弾道の変化を計算に入れてアドレスを調節すること。

パワーショットが残っているなら、キャリーで245ヤード飛ばすことにトライして欲しい。ここまでボールを運べば、短いクラブでアプローチできるので、横長のグリーンでもボールを止めやすい。強いフォローの風が吹いてくれれば、1オンできるラストチャンスの芽も生まれる。

5

ポイントとなるのは、左奥にある2番目のリング。かなり低い位置に置かれているので、ロングアイアンでギリギリ届かせようとしても上を越えてしまう。ここは、ウッドを70%ぐらいのパワーでショットして高さの問題をクリアしよう。トップスピンも加えておけば、着地地点の上り坂でもランが稼げる。続いてのアプローチは、見た目よりも打ち上げと思ったほうが正解。残り距離にプラス20ヤード奥へ飛ばすつもりで、キャリーで直接グリーンへ乗せる。

COURSE 5

テレサバレー

コースデータ

HOLE No.	yards	パースコア	平均スコア	平均パット数	降水確率
1	373	4	3.8	1.2	0%
2	400	4	4.1	1.5	21%
3	534	5	4.8	1.2	6%
4	199	3	3.2	1.4	11%
5	335	4	4.0	1.1	6%
6	411	4	3.5	1.1	6%
7	546	5	4.8	1.4	6%
8	136	3	3.3	1.7	25%
9	402	4	4.2	1.5	6%

HOLE No.	yards	パースコア	平均スコア	平均パット数	降水確率
10	562	5	5.3	2.1	15%
11	357	4	3.8	1.3	21%
12	152	3	3.1	1.8	26%
13	396	4	5.0	1.7	41%
14	391	4	4.4	1.6	67%
15	170	3	2.9	1.7	60%
16	407	4	4.4	1.3	38%
17	484	5	4.9	1.6	17%
18	380	4	4.1	1.7	9%

※これらの数値はすべて編集部で独自に調査･集計し、算出したオリジナルのデータです。平均スコア、平均パット、降水確率は3人のプレイヤーがトーナメントモードをそれぞれ10ラウンドずつ、合計30ラウンドして結果を集計しました。平均スコアと平均パットは小数点2位以下を四捨五入、降水確率は小数点以下を切り捨てています。

総評

フェアウェイを外すと谷底へ落ちて即OBという、じつにスリリングなコース。上下左右の起伏が激しいホールが多く、正確なコントロールはスコアメイクの基本かつ必須条件となる。また、ロングホールはどれも比較的容易にイーグルが狙える設定。OBしやすいという点も含め、多人数対戦で選択すると盛り上がること必至だ。



フェアウェイが直線的じゃないというだけで、難易度が大幅アップ。雨が降るとパーセーブも困難。



派手にイーグルが連発できるのは気持ちいい。ミドルホールでも、1オン可能なルートが隠されている。



マリオスター



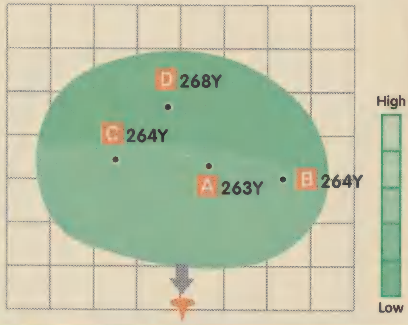
HOLE 1

338 Yards　Par 4

雨や向かい風でなければ、1オン1パットでいきなりイーグルを狙える。パワーショットで、グリーン付近をめがけて高く打ち上げよう。ただし、最低でも240ヤード付近までキャリーを稼がないと、ボールが転がり落ちてしまう。雨天時や、ドライブに自信がない場合は、右側のフェアウェイに落とすこと。

Green Data

手前から奥にゆるやかに下るスロープ。2オン狙いなら、ドロー気味のショットでアプローチすると、グリーン上でボールが止まりやすい。1オン狙いなら距離重視で正面から。







フェアウェイは甲羅状になっている。バックスピンをかけてドロー気味に打てば、上り斜面に着地してボールの勢いが止まり、しかもランが稼げてグリーンへの距離を縮めることができる。

いきなりイーグルトライが可能だ。パワーショットを使ってでも1オンさせたい。ただし、向かい風や雨天はもちろん、横からの強風がある場合は、その可能性は低くなる。即座に2オン狙いに作戦変更を。

ノーマルルート
ドロールート

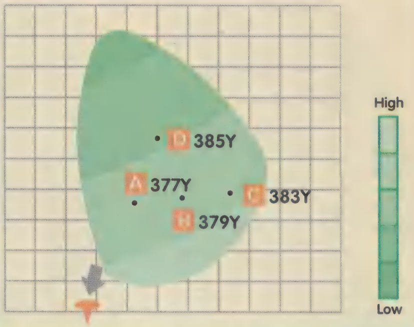
HOLE 2

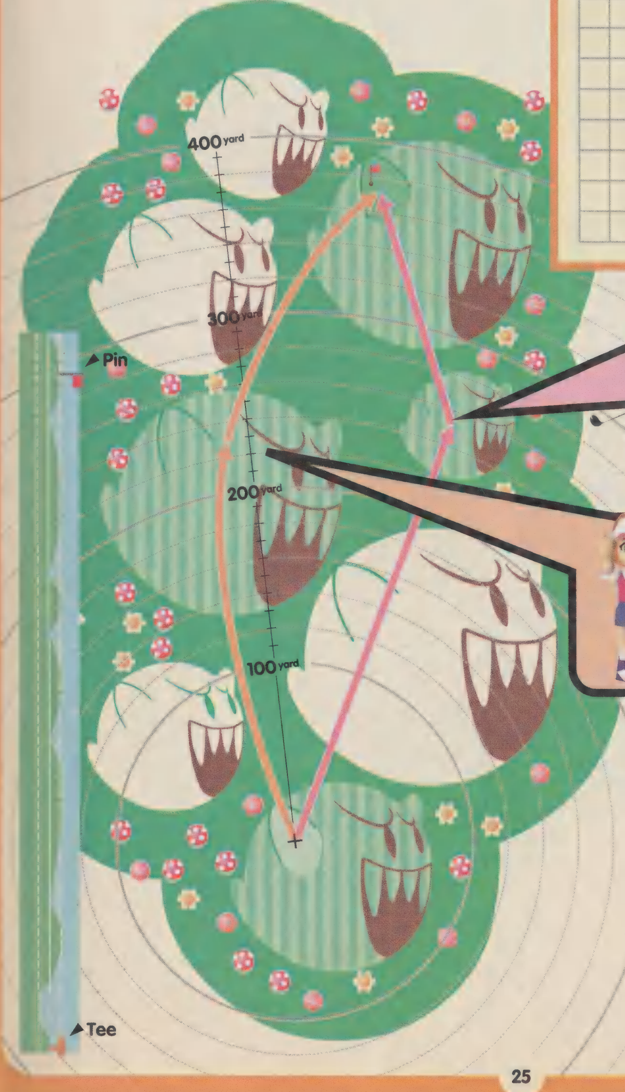
414Yards | Par4

とにかく雨が降ることの多いホール。テレサの形をしたフェアウェイは盛り上がっているため、ボールが転がりやすい。転がる方向は、着地時の傾きによるため、中央のわずかなフラットエリアを狙いたい。テレサからこぼれて下に落ちてしまうと、ディープラフに苦しめられる羽目になる。

Green Data

グリーンもフェアウェイと同じく、中央が盛り上がった丘のようになっている。グリーンの上り斜面に直接キャリーで運んで止めたほうが、ピンをデッドに狙いやすい。







パワーだけではなく、風の助けも借りることができた場合にのみ狙えるルート。グリーンやや手前に落とし、ランニングアプローチでグリーンを狙うことになる。



テレサのホッペの部分に落とすつもりでティーショット。フェードボールなら、少しだけグリーンへの距離を短縮することができる。まゆ毛の端あたりで止められればベストだ。

マリオスター

HOLE 3

510Yards　Par 5

ハナチャンの頭に咲く花がグリーンになっている。ティーショットをどこに落とすかで、アプローチの状況が変わってくるので、キャラクターのパワーや風と相談して決めよう。グリーン自体は大きいが、狙いのつけにくい形をしているうえに周囲がディープラフになっている。かなり手強いぞ。





グリーンの中央へピタリと落とせれば問題ないが、コントロールに不安が残るようなら、ドローボールを打っていくのも手。グリーンのレイアウトを長く使うことができるからだ。



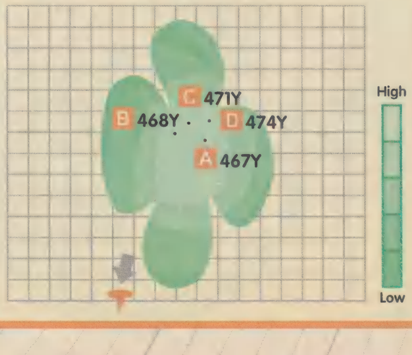
風の助けがあれば、イーグル狙いの1オンにトライできる。ティーショットをドロー気味に打てば、着地後にボールがグリーン方向へランし、少しだけだが距離を稼げる。



ティーショットで無理にドライブを稼ごうとする必要はない。打ち下ろしになるので、むしろパワーを少し抑えたい。岩に落としてしまうと、どこにバウンドするか予想できないので、ここに落とすことだけは避けたほうがいい。

Green Data

外側へいくほど起伏が激しくなる。カップの位置に関係なく、アプローチは中央の、比較的フラットな部分を狙っていきたい。外側に乗ってしまったら、無理せず2パット狙いで。



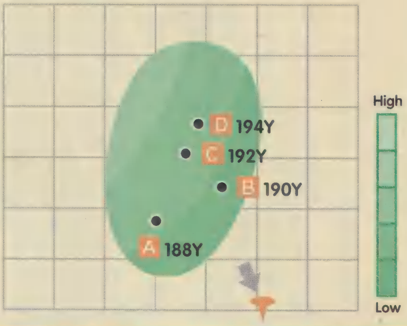
HOLE 4

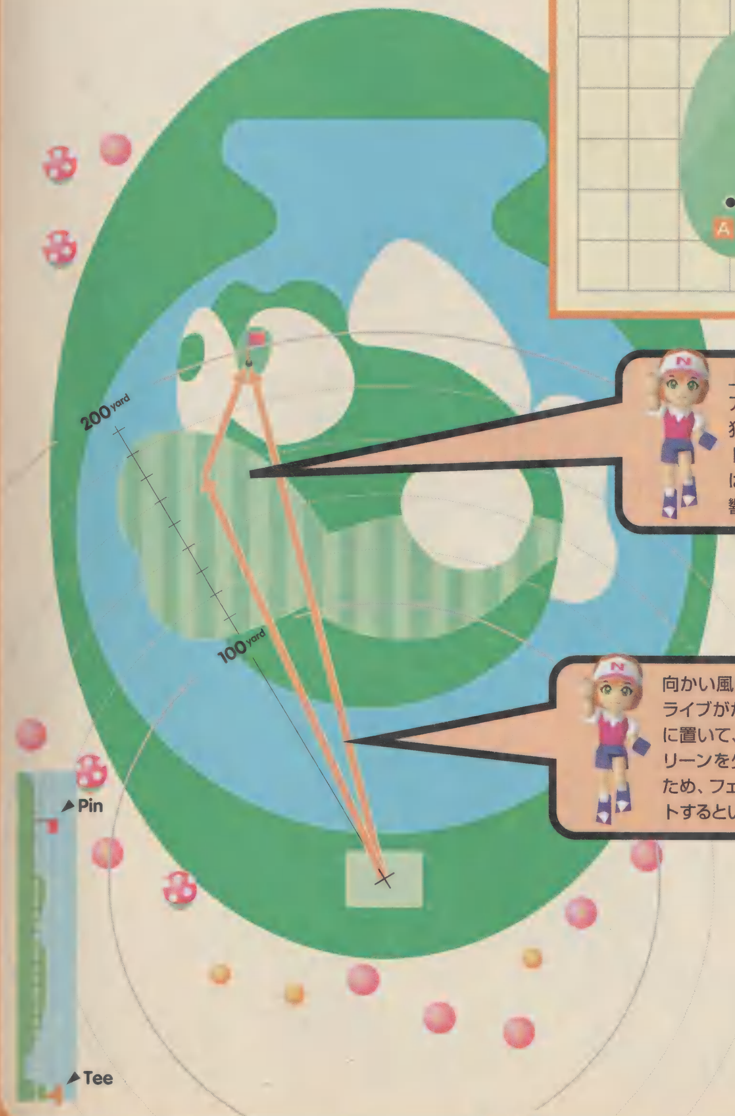
194Yards　Par3

10ヤードもの打ち下ろしになっているショートホール。プクプクの白目部分はバンカーになっていて、グリーンを外したボールを待ち受けている。高い弾道のボールで、直接グリーンに落としたいところ。打ち下ろしだが、キャリーでボールを運ぶことを考え、10ヤードほど余計に飛ばすつもりで打とう。

Green Data

手前へ下がった、ボールが止まりやすいグリーン。とはいえ、バンカーに囲まれているうえにやや狭いので、正確なアプローチが要求される。奥はフラットなのでパットは楽。





上唇の辺りにフラットなフェアウェイがあるので、ここを狙ってティーショット。ショートアイアンでのアプローチは、ティーショットより風の影響を受けにくいことに注意。

向かい風はもとより、横風でもドライブがかなり縮まることを念頭に置いて、クラブを選択。狭いグリーンを少しでも狙いやすくするため、フェード気味にティーショットするというのも悪くない手だ。

ノーマルルート

マリオスター

HOLE 5

410Yards　Par4

ティーグラウンドもグリーンも、ドッスンの額の部分にある。雨や風にジャマされなければ、グリーンまでほぼ一直線という最短ルートでボールを運べる。ドライブに自信がないときは、中央のドッスンの額にあるフェアウェイを狙おう。ただし、フェアウェイを外れると即ディープラフだ。





アプローチ地点から見ると、グリーンは縦長となる。そこで、距離感よりも横風に対処する能力が試される。曲がるボールで対処するなら、ドライブが若干短くなることを忘れずに。



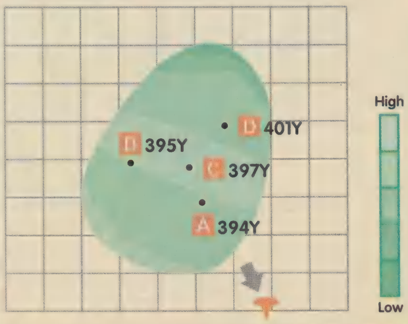
バックスピンをかけて止まるボールを使おう。ランが長いと、ラフやディープラフに転がり落ちてしまうからだ。とくに、追い風のときに、これを利用しようとしてパワーショットを使うと、ランの距離が伸びる。そうした状況でも注意を払ってほしい。



フェアウェイが広いので、雨や強風などの悪条件下でも比較的攻めやすい。ややフェード気味に打てば、そのフェアウェイをさらに長く使えるため、ランしてもオーバーしにくいという利点が生まれるのだ。

Green Data

中央がやや盛り上がっているが、ほとんどフラットでラインが読みやすい。注意すべきは、急斜面になっている奥のエッジ付近。奥に向かうパット時にオーバーしないように。



マリオスター

HOLE 6

149Yards　Par3

パー3だが、かなりハードな設計のホール。20ヤード以上の打ち下ろしにもかかわらず、グリーンやフェアウェイが下りスロープになっていて、距離感をつかみにくいのだ。150ヤード程度飛ばせるクラブで打てば1オンできるが、風には要注意。とくに、オーバーしての池ポチャだけは避けたい。

Green Data

横長で奥行きがなく、奥へ下っていて、じつにボールが止まりにくい構造。1オンさせるには、手前のラフでバウンドし、勢いが止まってからオンするアプローチがベスト。



④ ふたつのリングのあいだにティーショットを打ち込んでいく。ただし、打ち下ろしなので、バンカーに入るとボールが砂にめり込み、2打目のコントロールが難しくなる。ぎりぎり短めに打って、ラフに入れていきたいところだ。

横風がある場合、風に逆らうようにボールを曲げて、勢いを相殺してやるとベター。横風がなければ、バックスピンをかけずに150ヤード飛ばせるクラブでショットしよう。

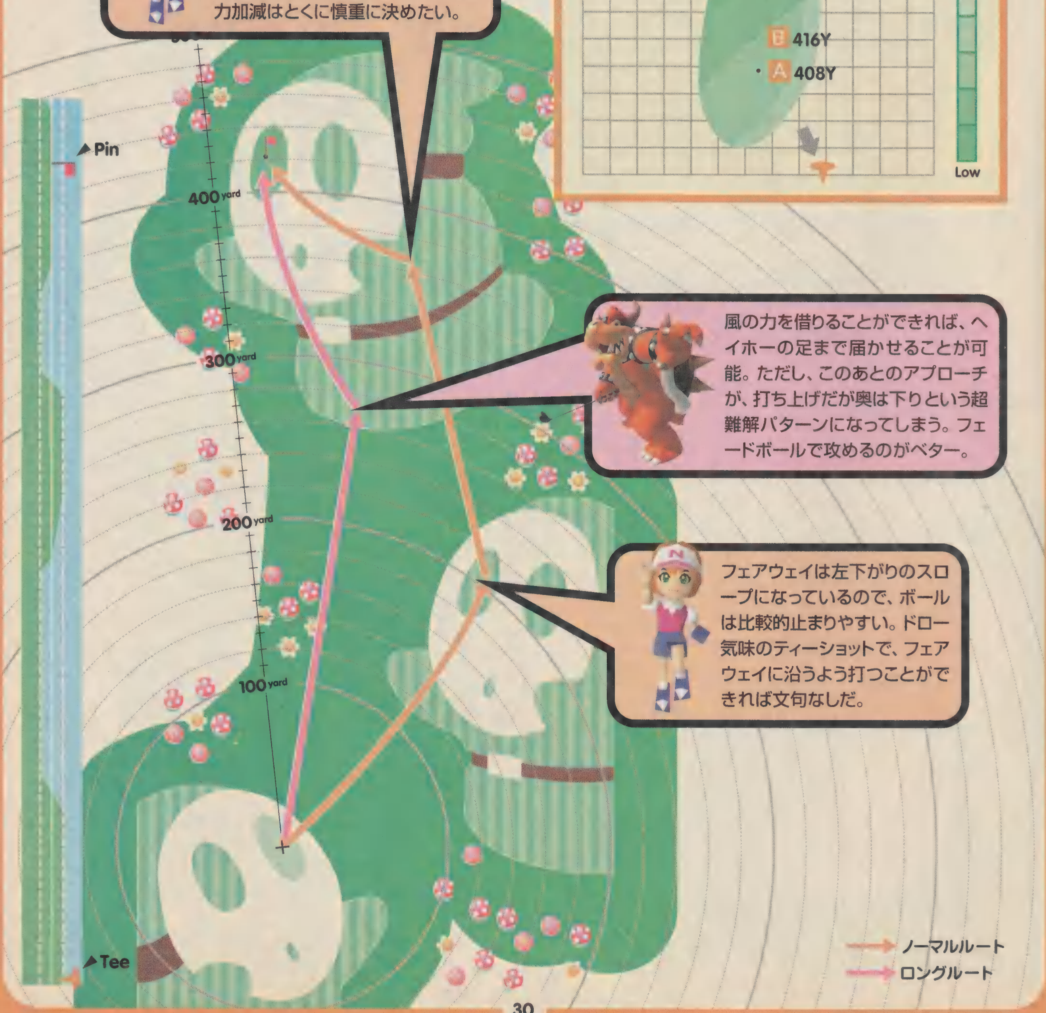
HOLE 7

500Yards　Par5

ティーショットから難易度の高いホール。バンカーに囲まれたヘイホーの目に落とさなければならないのだ。ここでフェアウェイを外してしまうと、セカンドショットをアプローチに適した場所まで運ぶのが難しくなる。セカンドショットは打ち上げなので、左手の付け根あたりに向けてアドレスしたい。

Green Data

奥へ下るスロープ、奥行きの浅さと、いずれもがアプローチを難しくする要因になっている。高く打ち上げるのはもちろん、風に逆らった変化をかけるなどして止める工夫を。



この部分は、盛り上がった丘になっている。その丘の手前に落とし、ランで丘に上るようにセカンドショット。こうすれば、バンカーにつかまりにくくなる。なお、アプローチでの力加減はとくに慎重に決めたい。

風の力を借りることができれば、ヘイホーの足まで届かせることが可能。ただし、このあとのアプローチが、打ち上げだが奥は下りという超難解パターンになってしまう。フェードボールで攻めるのがベター。

フェアウェイは左下がりのスロープになっているので、ボールは比較的止まりやすい。ドロー気味のティーショットで、フェアウェイに沿うよう打つことができれば文句なしだ。

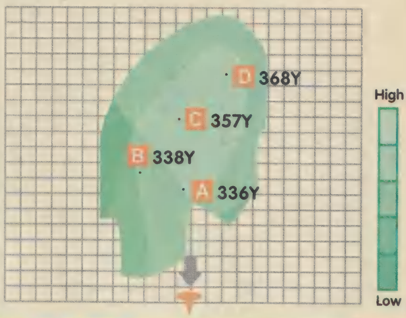
HOLE 8

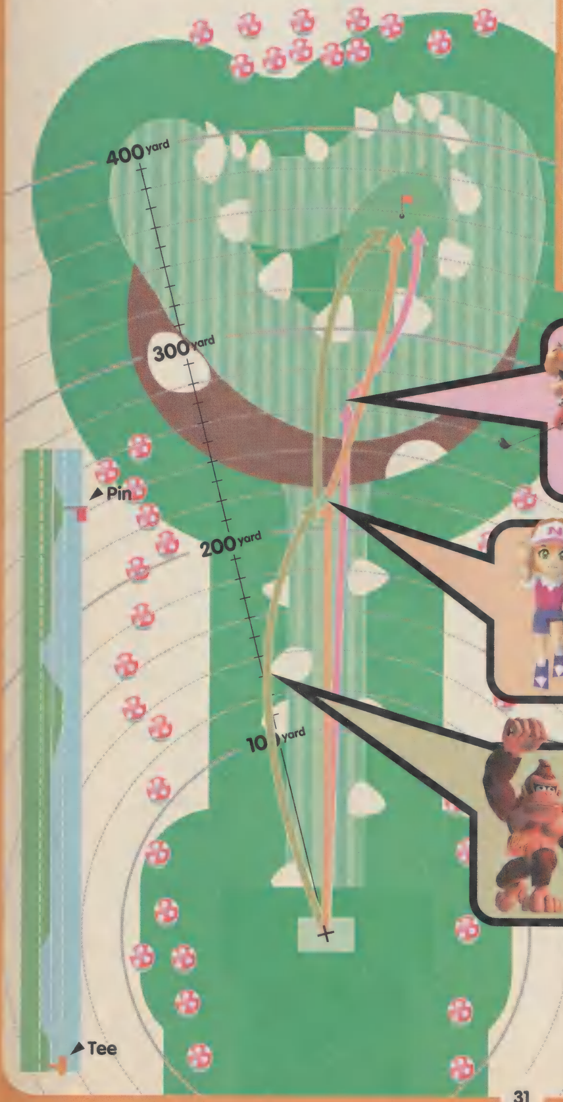
346Yards Par4

ティーショットで、パックンフラワーの茎に乗せるか、花まで飛ばすかは、風やキャラクターのパワーと相談して決めよう。茎になったフェアウェイは中央が盛り上がっており、中央の狭いフラットエリアに落としたいところ。横風の影響を受けにくくするためにも、弾道を低くして打っていくといい。

Green Data

広いグリーンだが、よく見ると手前側と奥側の二段構えになっている。手前側のほうが低いのでここにボールを落とし、ランで奥まで上らせるようにアプローチしよう。





ロングヒッターで、しかもフォローが吹いていれば、ダウンヒルとなった地形を活かして1オンも可能だ。ただし、パットは相当な上り斜面になっている。カップがCかDに切られているようなら、無理せず2パットのバーディー狙いに切り換えたい。

茎と花の境目は岩場になっている。バウンドする方向がまったく読めないので、ここに落ちることだけは避けたい。キャリーで花の部分まで飛ばす自信がなければ、手前に刻もう。

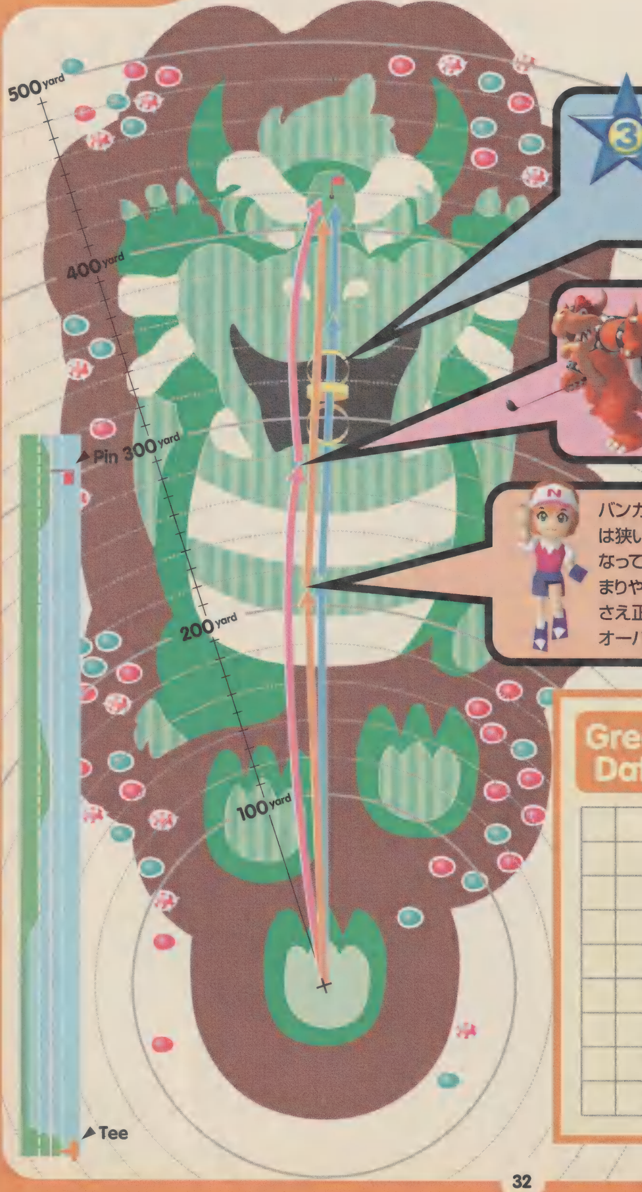
フェード系のキャラクターは、茎の中央に止めるのが難しい。左側から上りの斜面にぶつけるつもりでティーショットを打てば、斜面がボールの勢いを消す形になるため、止まりやすくなる。

マリオスター

HOLE 9

416Yards　Par4

打ち下ろしだが、山の斜面を越えるような形でのティーショットとなる。パワーがあればバンカーを越え、クッパのアゴまでボールを運んでもいい。そうでなければ、バンカーの手前の斜面を狙う。問題はアプローチで、少しでもオーバーすると、クッパの頭上まで転がり落ちてしまうのだ。



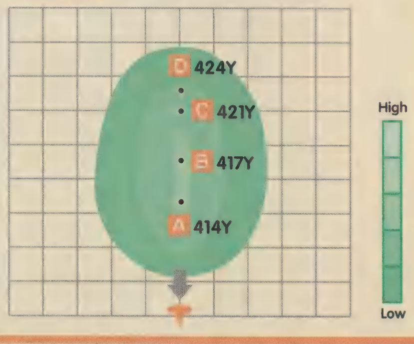
③ セカンドショットでグリーンを狙う軌道では、リングをくぐることはできない。ショートアイアンに持ち替えて、さらに打ち上げないといけないのだ。クッパの鼻あたりに落とすつもりで打とう。

ちょうどアゴの割れ目に落とせれば、低弾道のボールでアプローチできるので、この位置がベストだろう。もし失敗したら、グリーンの斜面に左右からぶつけるようにアプローチしてボールを止めること。

バンカー手前のフェアウェイは狭いものの、アップヒルになっているため、ボールは止まりやすい。キャリーの距離さえ正確に把握していれば、オーバーすることは少ない。

Green Data

甲羅状のグリーンへのアプローチでは、打ち上げは禁物。高く上がったボールは、グリーンでバウンドして外にはじかれやすいからだ。バンカーからのリカバリーでも注意。



マリオスター

HOLE 10

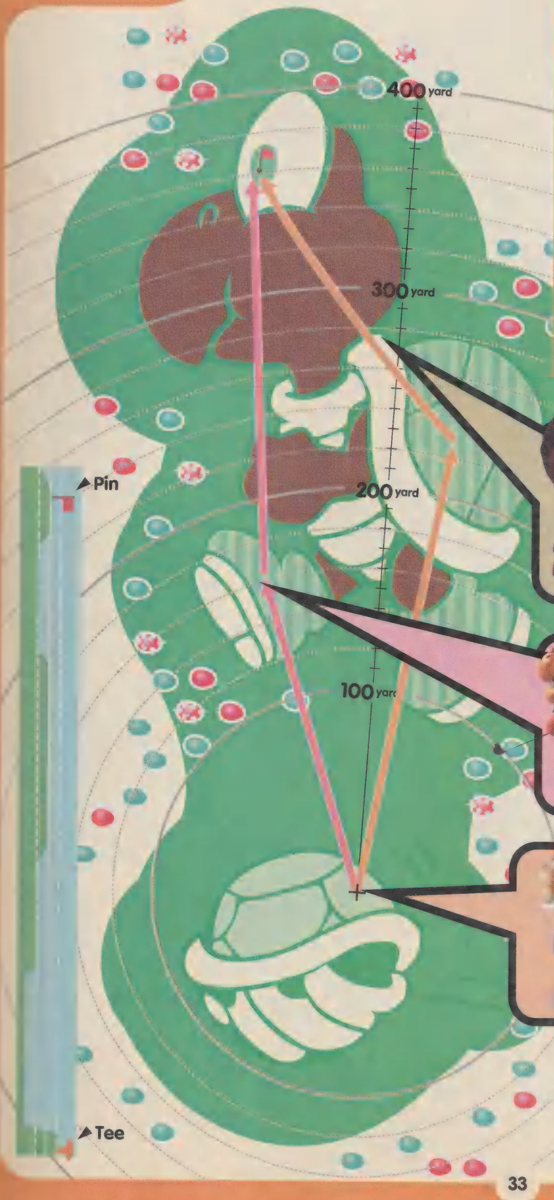
400Yards　Par4

ノコノコの目玉がグリーンになっている。ティーグラウンドが50ヤード以上も高い場所にあるため、クラブの選択さえ間違えなければ、バックスピンをかけなくても止まりやすいボールを打つことができる。ノコノコの靴を経由するか、それとも甲羅を経由するかは、風と相談して決めることになる。

Green Data

バンカーに囲まれた狭いグリーンは、左側が下がっている。甲羅からアプローチする場合、角度的に奥へ下がった傾斜となる。逆に靴側から攻めると、距離的に難しくなる。







この角度からのアプローチは、グリーンの奥行きがなく、しかも下りになっているため、かなり難易度が高い。だが、フェード気味にショットすれば、ほんのわずかだがグリーンを広く使うことができる。



ティーショットは短く刻むことになるが、2打目でパワータイプの本領発揮となる。グリーンへのアプローチは、角度だけをみるとこちらのルートのほうが楽だ。忘れずにバックスピンをかけるように。



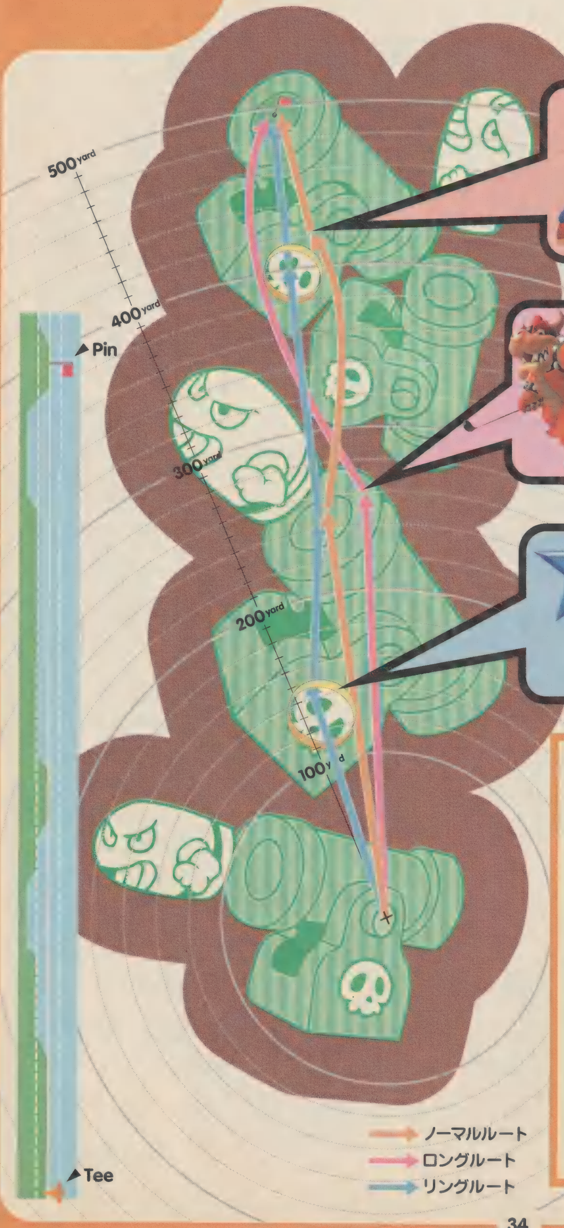
4分割されたフェアウェイのうち、いちばん手前へ落とせば、上り斜面になりボールも止まりやすい。打ち下ろしなので、普通のホールよりも風の影響を受けやすいこともお忘れなく。

マリオスター

HOLE 11

515Yards　Par5

砲台を渡り歩いてグリーンを目指すロングホール。砲台自体はフェアウェイになっているが、点在するグラスバンカー状のラフが難易度を高めている。基本的に、どのショットでもバックスピンをかけて打つことをオススメする。よほどの風とパワーに恵まれない限り、イーグルは難しい。



丘になったこの部分には、やや広めのフラットになったフェアウェイがある。ここに2打目を落とせると、アプローチがかなり楽になる。ドロー気味に打てば、多少オーバーランしても問題なし。

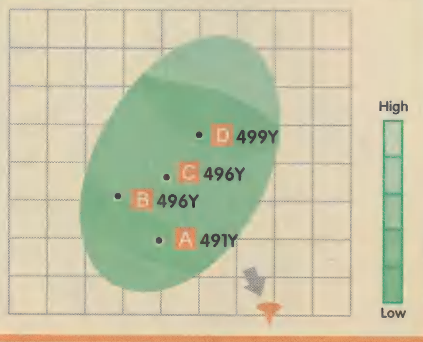
ティーショットでは、大砲の発射口を狙っていくのがセオリーとなる。だが、追い風とパワーがあれば、発射口の右奥に落としてみよう。2オンが狙えるぞ。セカンドショットはフェード気味に打ち上げること。

2

最初のリングは、170ヤード程度飛ばせるアイアンで、低い弾道でトライ。フェアウェイキープなら、ドライバーのパワーモードで2個目のリングを狙えるが、ラフに落ちた場合は4オン覚悟で刻むのがセオリー。

Green Data

奥が高くなっているが、グリーンを横切る溝のような低い部分を見落とさないように。周囲がラフなので、ランで乗せるのは困難。キャリーで直接グリーン上に届けたいところ。



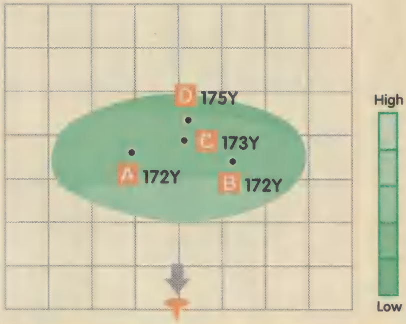
HOLE 12

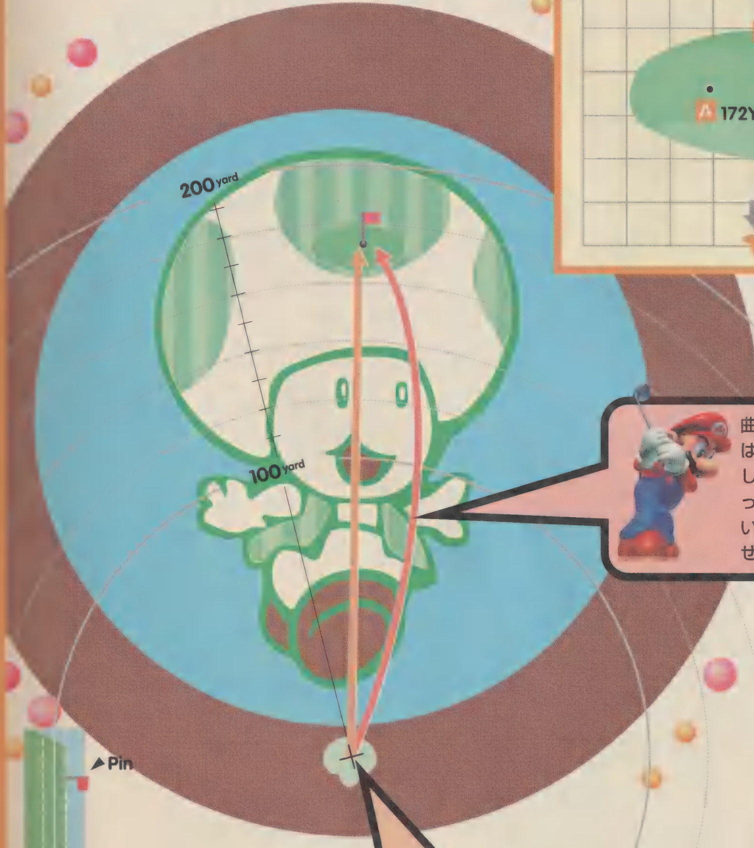
172Yards Par3

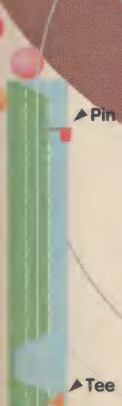
ティーグラウンドからキノピオの頭にあるグリーンまでほぼフラットという、このコースにしては起伏がゆるやかなホールだが、風を読む力が要求される。横長のグリーンのすぐ手前ではバンカーが大きく口を開けているので、キャリーでグリーン手前部分に届くボールを打つことができればベストだ。

Green Data

奥が下がっていて、ボールが止まりにくいグリーン。しかも、傾斜はグリーン奥のフェアウェイまで続いており、運が悪いと池ポチャになる可能性もある。バックスピンは必須。







曲がるボールでのアプローチは、距離感をつかむのがやや難しい。だが、多少ランが長くなっても、グリーンの幅をいっぱいに使えるという利点がある。ぜひマスターして使ってほしい。



グリーンの手前側に落とすボールを打つには、クラブの番手をふたつほど上げ、バックスピンをかけつつショットする。ただし、前後からの風が吹いている場合には、力をうまく加減する必要がある。

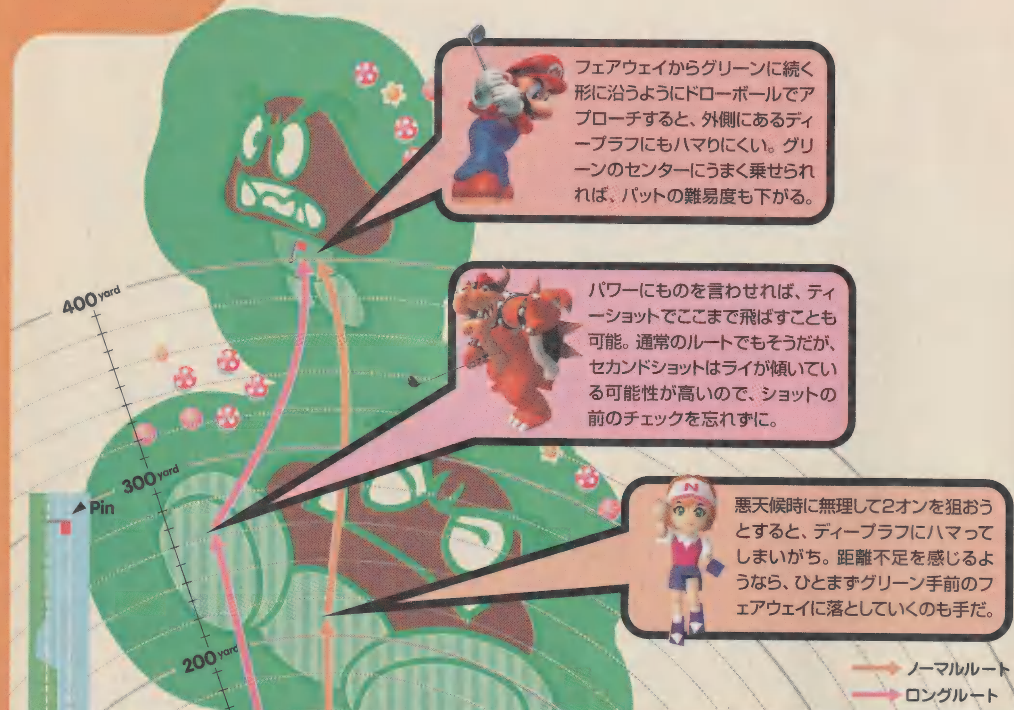
ノーマルルート
ロングルート

マリオスター

HOLE 13

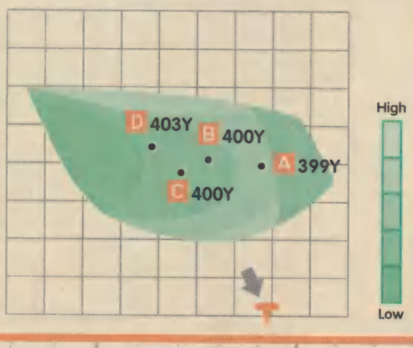
400Yards　Par4

丘になったクリボーの足がフェアウェイになっている。ただしこのフェアウェイ、手前へのダウンヒルになっているため、キャリーが足りないと転がり落ちてしまうので注意が必要。斜面にぶつかればボールはイヤでも勢いが止まるので、少し強めにぶつけるつもりでティーショットするとベター。



Green Data

右から左への下り斜面になっている。フェアウェイから転がして乗せたいが、手前にグラスバンカーがあるため難しい。グリーンに奥行きを持たせるため、カーブをかけたい。



HOLE 14

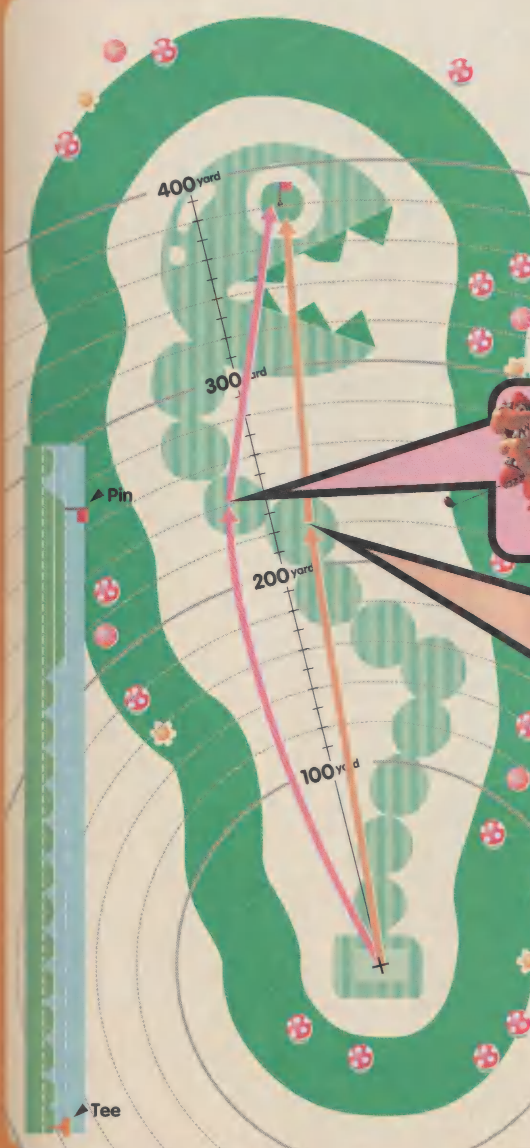
380Yards　Par4

ワンワンの足元から目玉へ向かって進んでいくホール。グリーン並みに狭くて丸いフェアウェイが点在しているので、プレイヤーのパワーや天候に応じて、ティーショットでどこに乗せるかを臨機応変に決めること。止まりやすいグリーンなので、距離が長めに残っていてもアプローチはさほど難しくない。

Green Data

周囲をすべてバンカーに囲まれたグリーンは、中央が窪んでいる。キャリーの距離さえ間違えなければ、着地したボールは中央へ転がっていくため、難易度は低めと言える。







パワーによっては、やや左のフェアウェイに落とすことも可能。ただし、ここはフラットな部分が狭いので、理由もなしに無理にここを狙う必要はない。自分なりの攻略ルートが見えたときに利用しよう。



ちょうどふたつの丘が縦につながったような形になっている。ストレートなボールでのティーショットは、ここを狙えばいちばん安全だ。ボールが左右にブレないことだけを注意して打とう。

ノーマルルート
ロングルート

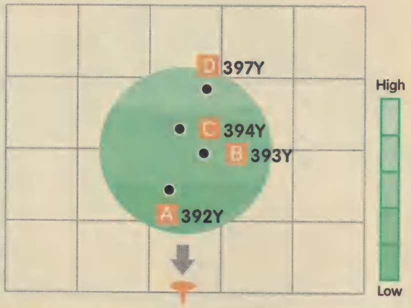
HOLE 15

419Yards　Par4

バンカーの中を泳ぐゲッソーの目を狙う。ティーショットを左のフェアウェイまでドライブできれば、2オンでバーディーを狙いやすいが、右のフェアウェイからでも2オンさせることは可能。2打目でロングドライブが必要となるので、パワー不足を感じたらバンカー手前へ刻むのが安全策。

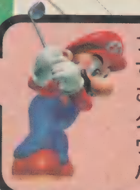
Green Data

奥が上りになっているため、ボールが止まりやすい。そのため、ロングルートでのアプローチでもオーバーランの心配は少ない。逆に、ノーマルルートでの2オンは難しい。





ティーショットを短めに打って最初のリングをパスしたら、右へ曲がるスライスをかけつつセカンドショット。これで2個目のリングをパスし、しかも目前に最後のリングとグリーンがあるはずだ。



フェアウェイは中央が盛り上がっている。中央よりも左奥に落とすことができれば、ボールはランでグリーン方向に寄ってくれる。パワーに自信がなければ、2打目はバンカー手前に落としていくこと。

ドライブに自信があるなら、間違いなくこちらのルートがオススメ。フェード気味に打てれば、バンカーに落ちる可能性も減る。さらに、グリーンへのアプローチも、角度的にイージーになる。

HOLE 16

195Yards　Par3

ピーチ姫のイヤリングがグリーンになった、ちょっとお洒落なレイアウトのホール。20ヤード近い打ち下ろしで、ピーチ姫の耳側を上にしたダウンヒルになっている。このため、ティーショットは左から右奥にランするようなフェード気味のボールで狙うことができると、止まりやすいベストアプローチとなる。

Green Data

全体を見ればほとんどフラットなのだが、グリーンの奥とそこにつながるフェアウェイが高く盛り上がっている。キャリーで直接グリーンの中央へ落とすのがセオリーと言える。







グリーン手前にある岩場にボールが落ちてしまうと、何が起こるかわからない。運が良ければバウンドしてグリーンに直接乗ってくれる場合もあるが、バンカーに落ちることもあるので注意。



半分埋まったリングが厄介な存在となっている。低い弾道のボールで、ピーチ姫の指のラフを狙おう。もしティーショットでリングをパスできなくても、ボールはリングの足元にあるはず。思い切りカーブをかければ、リングをくぐりつつアプローチできる。

HOLE 17

520Yards Par5

5匹のボム兵のうち、1匹は岩でできている。この岩山を避けるように左へ刻むか、山越えのアプローチに挑戦するかが、このホール最大のポイントと言えるだろう。ただし、パワーがないと山越えは難しく、さらに周囲で待ち受けるウォーターハザードをかわすには、それなりの運も必要となってくる。





ティーショットをボム兵の奥まで運べたら、山越えで2オンショットを狙いたい。山を回り込むように、フェード気味のボールを打つことができれば理想的。もちろんバックスピンは必須だ。



セカンドショットをボム兵の右奥に落とせば、ランでグリーンへの距離を詰められる。アプローチではカップの位置は気にせずに、グリーンの中央を狙っていこう。



ティーショットを短めに落とし、山の頂上を狙って打ち上げる。リングをパスしたあと山にぶつかったボールは、手前のバンカーに落ちてくる。ここから左のボム兵へ向かってリカバリーしていこう。

ノーマルルート
ロングルート
リングルート

Green Data

複雑で細かな起伏が特徴のグリーンは、左右からのアプローチで奥行きが生まれる。だが、グリーン手前は急斜面になっており、ここに着地したボールは前へ転がらない。

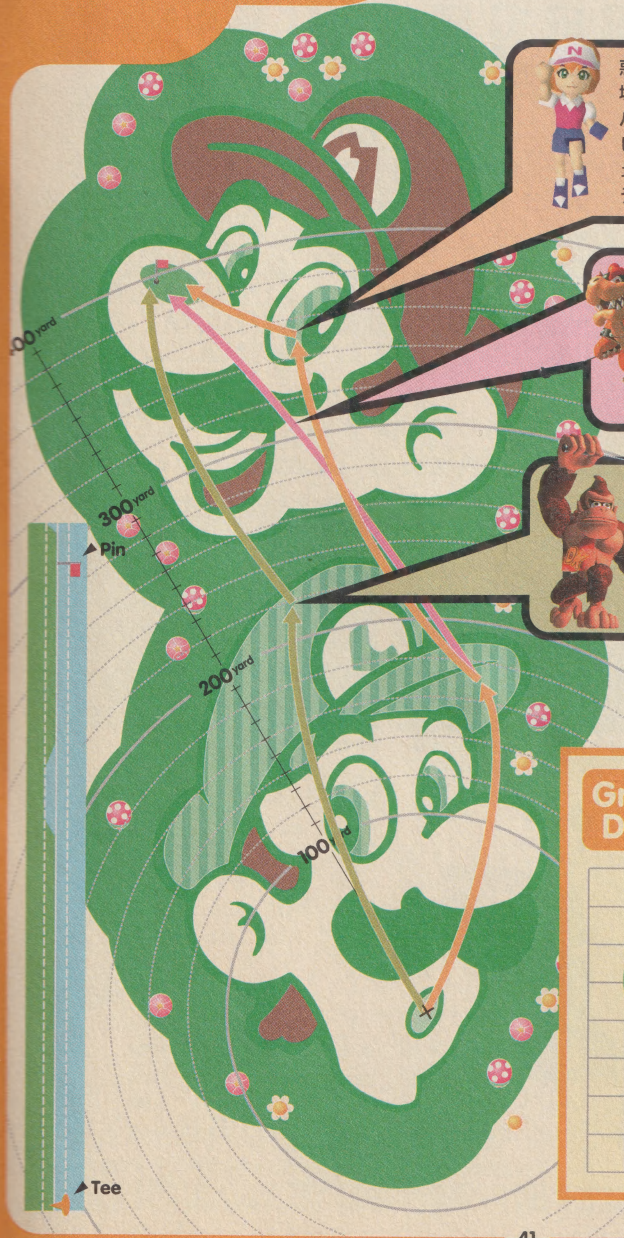


マリオスター

HOLE 18

395Yards | Par4

『マリオゴルフ64』全6コースのラストを飾るのは、やっぱりマリオブラザーズ。ハザードの配置を考えると難易度はかなり高く、バーディーを狙うことも可能だが、アプローチでグリーンを囲むバンカーにつかまることも多い。どうしてもスコアを伸ばしたい人以外は、パーキープを基本にフィニッシュしたい。



悪天候時や飛距離に自信がない場合、無理に2オンを狙っても、バンカーに深々と目玉を作ってしまうだけ。むしろ、確実なフェアウェイキープを心がけたほうが、アプローチは楽になる。

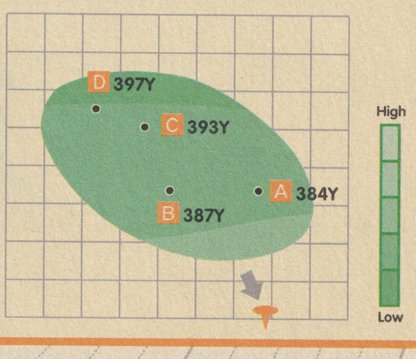
あえてティーショットを弱めに打つことの利点は、グリーンへ最適な角度からアプローチできること。距離はかなり残るが、もっともバーディーの可能性が高くなるルートなのだ。

ルイージの帽子は、奥へ向かうダウンヒルになっており、ティーショットが転がりやすい。少しフェードさせ、フェアウェイのレイアウトを活かしつつランで転がしていこう。

ノーマルルート
ロングルート
フェードルート

Green Data

手前から奥へ下った形だが、中央は広い範囲に渡ってゆるやかな斜面となっていて、パットしやすい。アプローチはグリーンのいちばん長い部分を転がるように打ちたい。



COURSE 6

マリオスター

コースデータ

HOLE No.	yards	パースコア	平均スコア	平均パット数	降水確率
1	338	4	3.4	1.4	11%
2	414	4	4.2	1.7	90%
3	510	5	4.6	1.3	38%
4	194	3	2.9	1.4	9%
5	410	4	4.0	1.3	26%
6	149	3	2.7	1.3	17%
7	500	5	5.4	1.9	33%
8	346	4	4.1	1.8	15%
9	416	4	3.6	1.6	23%

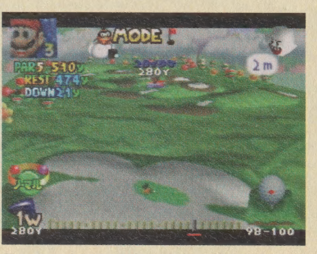
HOLE No.	yards	パースコア	平均スコア	平均パット数	降水確率
10	400	4	3.5	1.4	37%
11	515	5	4.1	1.5	30%
12	172	3	2.5	1.3	41%
13	400	4	3.7	1.2	22%
14	380	4	3.7	1.5	39%
15	419	4	3.0	1.3	14%
16	195	3	2.9	1.5	20%
17	520	5	4.4	1.7	12%
18	395	4	3.8	1.4	72%

※これらの数値はすべて編集部で独自に調査・集計し、算出したオリジナルのデータです。平均スコア、平均パット、降水確率は3人のプレイヤーがトーナメントモードをそれぞれ10ラウンドずつ、合計30ラウンドして結果を集計しました。平均スコアと平均パットは小数点2位以下を四捨五入、降水確率は小数点以下を切り捨てています。

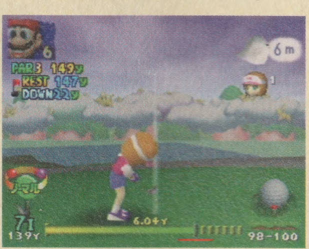


総評

アクロバティックなホールの数々は、運がスコアメイクを左右することも多い。いずれもティーショットをピンポイントで狙う必要があり、かなりの技術が要求される。悪天候時には、スコアを大きく崩すまえにパーキープ狙いに変更したほうがいい。じつは、これこそがデータ収集時における平均スコアを下げている原因なのだ。



ティーショットでフェアウェイをキープできないと、バーディは難しい。とくにロングホールでは絶望的だ。



比較的バーディを取りやすいショートホール。とはいえ、激しい高低差がバーディーを遠ざけている。



キャラクター別 飛距離一覧



サニー

	1W	3W	4W	2I	3I	4I	5I	6I	7I	8I	9I	PW	SW
PS	254/11	233/9	216/9	197/10	184/10	174/9	161/8	149/10	136/9	123/10	113/10	95/8	71/10
FS	227/10	210/10	193/10	180/9	167/10	159/11	145/10	134/12	123/12	111/11	101/12	85/9	64/10
-1	215/9	197/11	181/11	169/9	157/10	149/10	136/10	126/12	116/12	104/11	94/13	80/10	59/12
BS	228/9	209/8	194/10	182/11	170/10	162/8	144/8	134/10	123/8	110/13	101/9	88/9	68/12



メイプル

	1W	3W	4W	2I	3I	4I	5I	6I	7I	8I	9I	PW	SW
PS	260/8	240/10	224/10	204/10	193/11	181/11	166/11	154/12	139/13	128/11	116/11	99/9	74/10
FS	236/13	220/11	204/12	185/12	174/11	162/10	150/11	139/9	127/13	115/13	105/12	89/10	67/9
-1	223/12	207/11	192/12	175/9	164/10	153/11	142/11	131/9	121/11	109/10	99/12	84/9	62/10
BS	232/8	212/10	195/8	180/11	170/12	159/9	146/10	135/12	125/8	114/9	105/10	92/9	70/8



ワリオ

	1W	3W	4W	2I	3I	4I	5I	6I	7I	8I	9I	PW	SW
PS	262/13	243/14	223/14	208/11	194/11	182/10	168/12	155/13	145/9	134/9	121/9	103/9	78/11
FS	234/17	217/15	205/10	185/13	172/16	164/12	154/11	140/13	131/11	121/10	108/11	92/9	70/10
-1	219/13	200/15	188/15	174/13	163/11	153/13	145/11	131/12	122/11	112/10	101/10	86/9	65/9
BS	228/8	207/12	190/12	180/10	168/12	159/12	148/12	136/10	128/7	116/8	106/7	92/9	73/6



ハリー

	1W	3W	4W	2I	3I	4I	5I	6I	7I	8I	9I	PW	SW
PS	277/6	257/7	238/8	219/9	205/9	192/7	178/9	165/9	152/10	137/9	125/10	106/11	80/9
FS	250/10	233/12	216/11	196/10	186/10	173/9	160/8	147/11	136/10	124/11	113/10	96/9	72/10
-1	236/11	221/10	204/10	185/12	174/11	163/10	151/11	138/12	127/11	117/12	106/11	90/10	67/9
BS	245/10	229/9	214/7	194/10	184/8	172/8	156/8	144/10	131/11	121/9	111/13	96/9	74/10



マリオ

	1W	3W	4W	2I	3I	4I	5I	6I	7I	8I	9I	PW	SW
PS	291/11	267/10	245/11	225/10	210/9	197/10	183/8	170/8	156/10	143/9	129/12	109/10	82/12
FS	259/7	241/11	221/10	202/11	191/9	179/9	168/11	153/10	139/12	129/13	116/12	97/9	75/11
-1	247/10	228/9	211/9	192/9	182/11	171/11	160/10	146/11	132/10	124/10	110/10	92/8	70/10
BS	253/11	233/6	215/7	197/10	187/9	175/8	163/12	149/11	136/9	128/11	114/10	99/10	78/8



ドンキーコング

	1W	3W	4W	2I	3I	4I	5I	6I	7I	8I	9I	PW	SW
PS	290/13	270/9	250/11	228/11	213/8	201/7	188/10	173/11	159/9	146/9	132/9	115/8	84/9
FS	265/13	245/13	224/14	206/11	193/12	182/11	168/14	158/13	144/12	131/11	119/11	103/9	76/10
-1	250/10	232/11	212/15	193/15	182/12	171/13	158/12	149/11	136/11	123/11	110/13	97/8	72/9
BS	261/9	243/9	222/9	208/9	194/11	183/11	167/10	157/10	142/10	128/10	117/10	103/9	78/10



クッパ

	1W	3W	4W	2I	3I	4I	5I	6I	7I	8I	9I	PW	SW
PS	302/8	278/7	259/7	237/9	221/7	209/8	193/10	180/9	164/11	147/11	133/13	114/10	85/10
FS	272/7	253/8	233/9	215/10	201/8	189/10	173/9	161/10	147/11	136/11	122/11	103/9	77/12
-1	259/7	239/11	220/9	204/11	189/10	180/8	164/11	152/10	140/11	128/12	115/11	97/12	72/11
BS	264/8	244/7	223/8	209/8	194/9	184/11	167/9	156/11	143/10	131/12	118/9	103/12	79/10

表内の数字はキャリー/ラン(単位はヤード)を示す　PS:パワーショットでのフルスイング　FS:ノーマルでのフルスイング　-1:FSから目盛りひとつ分減らしたショット　BS:バックスピンをかけたフルスイング　※数値はすべて編集部で独自に調べたものです。ドライビングレンジのティーショットにおいて無風・晴天状態で行い、インパクトはBSを除きボールセンターのみを対象とする、という条件の下で一定数のサンプルを集め、そこから数値を算出しました。なお、小数点以下は四捨五入となっています。


ASCII OPEN GOLF
SUMMER
マリオゴルフ64
FOR ALL PLAYERS HOPING TO TOUCH THE TRUE ENTERTAINMENT